

伝習館



東京同窓會會報

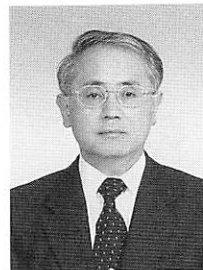
第4号 2004.6.1



伝習館東京同窓會總會案内
伝習館修学旅行生受け入れ

よこの細道
ギリシャあれこれ (三)
見に来てはいよ、柳川まちづくり

着任御挨拶



校長 荒木裕幸

このたび、本校教育の充実、発展に多大の貢献をなさいました神坂貞幸校長先生の後任として、県立太宰府高等学校から転任してまいりました荒木裕幸でございます。

本校の輝かしい歴史と伝統の重み、更には前任校長先生の数々の御功績を目的に、その重責に身の引き締まる

思いであります。浅学非才のこの身に鞭打ち、微力ではございますが伝習館のさらなる発展のために努力をする所存でございます。

東京同窓会の皆様には、母校の教育振興と在校生の激励のために、特段の御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。特に、本年1月に行いました修学旅行の折には、新しい試みとして課題別研修を計画いたしましたところ、皆様の御理解と御協力を賜り、大変有意義な研修の時間を持つことが出来た旨、前校長から伺っております。いつも変わらぬ同窓会の皆様方の母校に対するご厚情に、心から感謝申し上げますとともに、今後とも御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶と致します。



教頭 三宅清二

今年度の人事異動により明善高校より転任して参りました教頭の三宅と申します。

歴史と伝統を持つ伝習館高校に赴任できたことを大変光栄に思っております。

本校では、セミナーハウスにある資料館において、孔子像、北原白秋の直筆の校歌の原稿など素晴らしい資料が大切に保管され、歴史と伝統を大切にされている同窓生の方々と教職員・在校生の思いを強く感じました。

私も、歴史と伝統ある伝習館高校が、さらなる発展を遂げるよう教頭として職務に精励する所存です。

同窓生の皆様にはご支援とご指導をお願い申し上げます、着任のご挨拶とさせていただきます。

表紙

飯塚理恵子 略歴

一九六四年 東京都生まれ。

女子美術大学洋画科卒業。

卒業後、玩具会社の企画デザイナーとして入社。

結婚により退社。

結婚までの本籍は、福岡県山門郡三橋町藤吉五三〇番地の九

〔中56回卒 成清良孝氏 息女〕

伝習館



東京同窓会会報

東京同窓会本部より

平成 16 年度伝習館東京同窓会総会案内	2
賛助金のお礼とお願い	会長 江崎正直 3
入金状況報告	4
決算収支報告書(平成 15 年 10 月以降分)	5
同窓会賛助金振込票通信欄コメント	5
伝習館修学旅行生徒受け入れについて	8
東京に輝ける三稜の星たち	副会長 松永肅 13
最近の新聞から	14

先輩・後輩より

思春期の実存的命題	中 56	成清良孝	15
白秋と切支丹文化	高 5	今村直	16
東京同窓会会報「伝習館」に出会えて	高 6	江崎逸夫	17
オナシス父子			
一ギリシャあれこれ(三)	高 6	岡田哲也	18
よこの細道	高 23	坂本智臣	19
見に来てはいよ、柳川まちづくり。	高 23	松石めい子	22
Pari 通信	高 35	梶島優	24
バンド紹介「PEALOUT」	高 35	大野美佐子	24

学年幹事より

「第 24 回 ふくの会」	高 5	古賀弘	26
昭和 37 年卒・13 回生の還暦記念東京同窓会	高 13	田中利道	26
還暦組の東京同窓会開催	高 14	中ノ森重義	27
募集			28
編集後記			28
東京同窓会組織図/学年幹事名簿			29

東京同窓会本部より

伝習館東京同窓会総会のご案内

平成 16 年 5 月吉日

謹啓

時節の候、皆様には益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

さて、隔年毎に開催します伝習館東京同窓会総会の時期がやってまいりました。今年の講演は、冒険スキーヤーとして国際的にもご活躍の三浦雄一郎様にお願ひしました。ご参加の皆様にはきっと勇気を与えて頂ける事と思います。又、昨年 5 月、柳川の水の郷ホールで開催された『やながわ童謡祭』に出場したコール・シオンの皆様のコーラスや抽選会など、一人でも多くの同窓生の皆様にお集まり頂き楽しい総会になりますように、学年幹事会を中心に企画をいたしました。皆様にはお誘い併せの上、奮ってご参集頂き、懐かしい郷土を語らいあっていただければ幸いに存じます。

伝習館東京同窓会 会長 江崎正直

日時：平成 16 年 6 月 27 日（日曜日）受付 10 時 30 分より

11：00～12：00 特別講演『高く遠い夢…70 歳エベレスト登頂』

三浦雄一郎

12：00～12：20 ミニコンサート『北原白秋と世界の歌めぐり』

コール・シオン

12：20～13：00 総会

13：00～15：00 懇親会

場所：ホテルグランドパレス 2 階『ダイヤモンドホール』

千代田区飯田橋 1-1-1 電話：03（3264）1111

会費：10,000 円（学生の方はご招待）当日受付にて承ります。

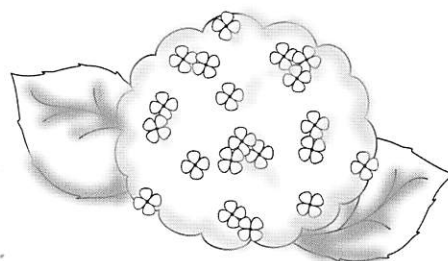
ご都合の程を同封の葉書にて 6 月 20 日までにご返信下さい。

伝習館東京同窓会事務局

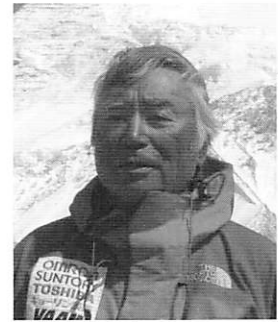
〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-3-19

TEL：03-3915-0865 Fax：03-3918-8139

E-mail:masako@chidoriya.gr.jp



三浦雄一郎氏 プロフィール



1932年10月12日青森市に生まれる。
1964年イタリア・キロメーターラン
セに日本人として初めて参加、時速17
2、084キロの当時の世界新記録樹立。
1966年富士山直滑降。
1970年エベレスト・サウスコル80
00m世界最高地点スキー滑降（ギネス
ブック掲載）を成し遂げ、その記録映画
[THE MAN WHO SKIED DOWN
EVEREST] はアカデミー賞も受賞。
1985年世界七大陸最高峰のスキー滑
降を完全達成。
冒険スキーヤーとしてだけでなく行動す
る知性人として国際的に活躍中。

2003年5月22日12時10分 世界最高
齢でエベレスト（8848メートル）に
息子・豪太氏と父子同時登頂を果たす。
：夢に見たエベレストの頂上。人はいく
つになっても夢を持てる。そして、それ
に向かって諦めず、一歩ずつ登り続けられ
ば、世界の頂点に立つ事もできるのだ。
70歳7ヶ月。私は世界最高齢のエベレス
ト登頂を果たした。人間は歳をとっても

良い事がある。歳をとらなければ出来な
いこともある。今回達成された記録はい
つか破られるだろう。破る人間が現れて
欲しい。人間、やって出来ないことはな
いのだから…。『高く遠い夢：70歳エベ
レスト登頂記』より。

コール・シオン プロフィール

コール・シオンは
東京の女子聖学院
の卒業生を母体と
して、1978年
に結成され、20
02年8月には東
京文化会館におい
て第8回定期演奏
会を開催しまし
た。国際的な視野



を持たれた社本先生の理想のもと、レパ
ートリーは古典、宗教曲、世界の民謡、
日本の歌など多岐にわたり、演奏を通し
て国内外の奉仕活動も行っております。
1990年にはポーランド国家芸術協会
からの招聘でポーランドで演奏しまし
た。その折歌った北原白秋の童謡は、国
境を超えて多くの人達に喜ばれました。
昨年5月には、柳川の水の郷ホールで開
催された『やながわ童謡祭』に出場し、
メンバーにとっても柳川がとても印象深
い町になりました。この度メンバーの一
人の母校である伝習館の東京同窓会総会
にお招き頂き大変光栄です。メンバー一
同とても楽しみに練習に励んでまいりま
した。

お礼とお願い

賛助金協賛に多数の皆様方のご協力をいただき心より厚く御礼申し上げます。

前号第3号3ページ「お礼とお願い」の中で、私が会報の発行を強調したがゆえに、皆様方の中には賛助金を会報発行費用のみに当てているかの如き誤解を招いたかも知れないことを危惧し、一筆したためさせていただきます。

賛助金は会報1号、2号の末尾記載「会則」のように、会則第4条（事業）1. 総会の開催 2. 同窓会誌の発行 3. 母校事業の後援等 4. その他の本会の目的達成に適切な事業、などを行うのに発生した費用に当てるものでございます。会報発行以来、それにかかる費用が大きいので目立っているものでありまして、決して会報発行のためだけの賛助金ではないことをご理解願いたいと思います。

同じ学び舎に学んだご縁を大切に、老いも若きも助け合うのが同窓会であります。私はこの幅広い世代に渡る同窓会を運営するに当たり、求心力を働かせるには、会報発行が最も有力な方法の一つであると信じて、まずこれを実行した次第であります。これにより会員間の情報交換が親密になり、皆さん方の理解が徐々に深まってきているという感触を得ております。これからも会報を発行してまいりますので、ご協力のほどお願いいたします。

本文中にもありますように、今回初の試みとして修学旅行生を1日お世話いたしました。同窓会関係者はご多忙の中、ボランティアで協力してくださいました。昼はグループ別見学会、夜は懇談会と、生徒たちも東京同窓会の存在を認識し、親密感を覚えて帰ったものと思います。神坂館長先生からも「同窓会関係者の熱意で所期の成果を十分に挙げる事ができたことに感謝します」とのお礼状をいただきました。

これからも母校と同窓会は相協力して助け合っていかなければなりません。会の運営をよりスムーズに行うため、今後とも皆様方のご協力をお願いいたします。

平成十六年五月 伝習館東京同窓会 会長 江崎 正直

【入金状況報告】

平成 15 年 11 月 1 日から平成 16 年 3 月 31 日まで

卒回	氏名
高5	松尾久子
高6	石橋修
高6	富野登子
高6	森清旨
高7	伊原典子
高7	大薮成人
高7	古賀国利子
高7	永江嵩子
高7	浜野弘子
高7	松藤賢一
高8	松本登四男
高9	石橋淑子
高9	岩丸純芳
高9	古賀昭夫
高9	古賀弘子
高9	斎藤マズミ
高9	桜井晶子
高9	高口猛
高9	樺橋悠紀
高9	堀添幹子
高10	糸山カズ子
高12	古賀アヤ子
高11	石橋秀男
高11	駒田サヨ子
高13	田中広征
高13	原伸
高13	松尾正孝
高14	大村陽子
高14	浜尾淑江
高15	後藤民子
高17	古賀日出雄
高17	松本重信
高19	藤田美穂子
高20	近藤敬介
高20	広松洋二
高23	坂本智臣
高27	松藤峯成
高28	石橋孝一
高32	本村智樹
高32	咲村あかね
高38	荒巻能史
協賛 0.5 口	
中 52	大内礼三

(1 口 2,000 円)

卒回	氏名
協賛 1.5 口	
中 49	淡輪晋
中 50	廣松親弘
女 46	佐伯淑子
高 3	田中穂積子
高 3	藤木豊子
高 5	家入智恵子
高 9	石瀬籌子
	今山博文
高 10	松藤俊正
協賛 1 口	
併中 1	田中健次
併 2	石川遠弥
38	高椋正雄
中 38	宮崎正直
中 47	永江敬二郎
中 49	松尾淳
中 50	田辺一彦
中 50	末松恭介
中 54	野口清二
中 55	小泉祐一郎
中 55	馬場淳三郎
中 55	武藤徳一
中 56	松本一郎
女 33	木下チヲ
女 44	五十嵐八千代
女 44	松本照子
女 47	小端ヒサ子
高 1	高石満之
高 1	高木陽二
高 2	諸藤繁樹
高 2	田中豊子
高 2	平河智
高 3	一郡辯
高 3	田島順次
高 3	酒井清行
高 3	塚本幸男
高 3	前田雅子
高 3	柳沢一彦
高 4	山本瞳
高 5	安藤祥介
高 5	藤木勇作
高 5	岸洋子
高 5	古賀耕造
高 5	武田八重子
高 5	酒井弘子
高 5	原タカ子

卒回	氏名
高 2	石橋慶孝
高 2	石崎知見
高 2	廣松敏克
高 3	志牟田徹
高 5	中村千常
高 5	古屋観子
高 7	米永勝至
高 8	池田孝人
高 8	内田由美子
高 10	川口圭之
高 10	光安弘子
高 11	久賀朝文
高 12	小野アケミ
高 12	甲木宏明
高 12	東若芳
高 12	原田健治郎
高 12	松藤勝美子
高 15	一木克子
高 24	馬淵邦助
高 26	野口佳延
高 27	友清寛
高 27	東矢真由美
協賛 2 口	
中 53	浦川浪来
中 53	吉岡昭三
中 54	山田道保
女 34	古賀弘子
中 55	金森隆茂
中 55	龍謙二
女 45	河野和子
女 44	後藤由紀子
高 3	近藤宣夫
高 7	大津山砲三
高 7	田中敏之助
高 8	川口融
高 10	東辰子
高 12	鈴木弘子
高 13	古賀誠三
高 17	下吹越智佳子
高 17	下吹越智佳子
高 18	中村易世
高 22	久保田知子
高 37	若尾奈実子
協賛 1.75 口	
中 51	原次雄
高 4	原勝子

卒回	氏名
協賛 50 口	
高 2	江崎正直
協賛 15 口	
高 4	倉本博子
高 16	松岡光好
高 24	酒見和平
協賛 5 口	
中 47	荒木勝
中 47	徳永樹夫
高 1	永江政勝
高 2	小野善睦
高 2	山下武
高 3	杉森亘
高 4	執行伊都子
高 4	新谷弘美
高 4	丸勢正夫
高 4	丸勢正夫
高 5	江口政司
高 5	緒方豊昌
高 5	岸栄洋
高 5	田中禮二
高 6	戸上軍治
高 6	萩島直記
高 7	中村奨祐
高 8	山田チテ
高 9	山下恒吉
高 13	田中利道
高 13	山田孝輝
高 14	跡部悠
高 14	長柄道夫
高 16	椛島正司
高 18	白谷正則
高 20	海東信子
高 20	東寛治
協賛 3 口	
中 46	前原弘
高 17	北島文之
高 20	椛島豊子
	堤フミ枝
協賛 2.5 口	
中 33	阿部渡
中 45	北島年夫
中 50	村石厚吉
中 55	高巢和夫
女 39	壇ヨソ子
高 1	石橋哲夫
高 1	北島良美

平成15年10月1日から平成16年3月31日まで

科目	金額	科目	金額
収入の部		支出の部	
普通賛助金	932,000	会報製作費用一式	735,000
広告賛助金	40,000	会報送料一式	340,187
		伝習館同窓会広告料	40,000
		慶弔見舞費	21,000
		学年幹事会会議費補助	11,863
		郵便振込手数料	12,450
		印字サービス料	2,100
当期収入	972,000	当期支出	1,162,600
前月繰越金	1,208,200	次月繰越金	1,017,600
計	2,180,200	計	2,180,200
		繰越預金残高	217,100
		繰越現金残高	800,500

伝習館東京同窓会賛助金
振込票通信欄コメント

敬称略

中学38回卒 宮崎正直
宮崎正直こと、10月12日に永眠いたしました。平素の御厚情深謝いたします。
宮崎朝子

高校7回卒 大津山砲三

高7回卒です。

高校10回卒 光安弘子

毎回とても楽しみにしています。

中学53回卒 浦川浪来
遅くなりましたが賛助金振込みます。些少ですが、よろしくお願ひします。

中学47回卒 徳永樹夫

会報第3号有難うございました。会の発展と会員皆様のご健勝をお祈りいたします。

高校6回卒 富野登子

高校6回卒 東京同窓会会報お送り下さいまして有難うございます。楽しくなつかしく読ませて頂きました。会費遅くなりましたが送らせて頂きます。よろしくお願ひ致します。

中学50回卒 田辺一彦

平成16年度 賛助金。
併中2回卒 石川遠弥
お世話になっています。領収書等は不要です。

高校6回卒 森 清旨

会報第三号確かに頂きました。江崎会長初め、役員の方々のご苦勞に深く感謝致します。会報を見ると、いつのまにか、40数年前にもどって、柳川に居る気持ちになります。どうか今后共よろしくお願ひ申し上げます。

高女46回卒 佐伯淑子

お世話様でございます。よろしくお願ひ致します。

高校1回卒 石橋哲夫

おそくなり失礼いたしました。

高校5回卒 中村千常

高校9回卒 石瀬籌子
大変遅くなり申し訳ございませんでした。会報毎回のしみに拝見させていただいています。

高校12回卒 古賀アヤ子

会報ありがとうございます。表紙の「クモデ」私の田舎の「大川市旧田口村」家にもあり父と一緒に泊まった日を想い出しなつかしくなりました。第12回生（S36年3月卒）

高校32回卒 本村智樹

お世話様です。

しる50年以上昔のことですから。

高校13回卒 田中広征

札幌市西区琴似2-2-3-12
603号

大変遅くなりましたが、気持ちばかり(2口)協賛させて頂きま

田中広征

高校20回卒 梶島豊子

今回は3口送ります。(前回は送っていない)会報が届くとふるさとをなつかしく思う事ができます。(ふるさとがなつかしくなります。)

? 今山博文

毎度お世話になります。今後ともよろしく。

中学54回卒 野口清二

山頭火の心境に益々似てきた現在です。(柳川ははるかに遠く)

分け入っても分け入っても 青い山

あるけばかつこう いそげばかつこう

ほうたるほたる なんでもないよ

蛙になりきって 跳ぶ
椿おちている あほげば咲いて

住居表示を下記のように訂正お願いいたします。

〒178-0023
TEL042341-5080

小平市上水新町3-19-15
野口清二

高女34回卒 古賀弘子

中学55回卒 高巢和男

冠省、いつもお世話さまです。3号も楽しい内容でした。甚だ些少で恐縮ですが、私と家内(同姓・夏子)の二人分として上記の額を払込させて頂きます。尚、今後は二人で一冊で結構です。

高校7回卒 大藪成人

第3号読ませていただきました。特に「先輩・後輩より」の記事はどれも面白く柳川のことを思い出しました。矢留小学校近くに実家があり、難波、加藤、浦川、鳴神、等平氏の落人六騎の姓を名乗る家が今もあります。第4号を楽しみにしています。

高校9回卒 古賀昭夫

第3号を懐かしく拝受しました。懐かしい限りです。同窓会員の諸兄の益々なる御発展と御健康を祈ってやみません。幹事諸兄の御苦労を感謝します。

高校11回卒 久賀朝文

高校11卒
ありがとうございます。今後も楽しみにしております。

高校32回卒 咲村あかね

事務局、原田万紗子様へ 登録整理の件、メールにて早々にご返事を頂きありがとうございます。

高校17回卒 北島文之

大変遅くなりました。よろしくお願い致します。

中学51回卒 原次雄

「中51・原次雄・高4・原勝子」は熟年夫婦ですからワイフの方は送り物の送付不要です。1人分で結構です。賛助金は、2人で3・5口分です。どうぞよろしく。(ラッキーセブン)

中学50回卒 末松恭介

平成16年度 賛助金 1口分
中050 末松恭介 85000
2360
(停年退職により「ヘキスト合成(株)」は削除願います。)

高校27回卒 松藤峯成

なつかしい風景の表紙絵画でした。

高校1回卒 北島良美

訳けございません。

高女44回卒 松本照子

同窓会々報とてもなつかしく拝見しました。ささやかな協力で申し訳ございません。

高校7回卒 浜野弘子

東京同窓会の賛助金としてお送りします。第3号なつかしく興味深く拝見いたしました。ありがとうございます。

高校17回卒 下吹越智佳子

S41卒 17回生です。会報楽しみにしています。お世話さまです。17回生のメーリングリストを紹介頂きありがとうございます。

中学55回卒 鶴謙二

明けましておめでとうございます。会報の納入が遅れて申し訳ありません。

高校3回卒 田中穂積

市政変更の為住所変更
(旧)千葉県印旛郡富里町日吉台1-14-8
(新)千葉県富里市日吉台1-14-8

高校5回卒 武田八重子

いつも故里を届けていただきありがとうございます。

高校19回卒 藤田美穂子

お世話さまです。遅くなり申し訳ございません。会報いつもなつかしく拝読させていただいています。名簿が二重になっているようです。2部届いています。宜しくお願致します。

高校15回卒 一木克子(旧姓 原)

東京同窓会会報懐かしく拝見しました。叔母やいとこの達の名前を見つけ親しみを感じました。私たちは(15回卒)時々東京で集まる機会もあります。帰柳の祈りはよく女性ばかり10名集まっておしゃべりします。

高校3回卒 近藤宣夫

伝習館同窓会会報を毎号御送りいただき有り難うございます。昔を想い出します。

高校27回卒 友清寛

お世話になります。柳川の風景写真や、言葉に懐かしく思い読ませていただいております。第3号の3ページの修学旅行のは私どものことで、今さらながら当時の先生方、皆様方に感謝申し上げます。

高校7回卒 古賀国利

毎回楽しみにしています。編集のみなさん誠にこころうさまです。

高校7回卒 古賀弘子

毎回楽しみにしています。編集のみなさん誠にこころうさまです。

高校7回卒 古賀弘子

毎回楽しみにしています。編集のみなさん誠にこころうさまです。

高校7回卒 古賀弘子

毎回楽しみにしています。編集のみなさん誠にこころうさまです。

高校7回卒 古賀弘子

毎回楽しみにしています。編集のみなさん誠にこころうさまです。

高校7回卒 古賀弘子

毎回楽しみにしています。編集のみなさん誠にこころうさまです。

高校7回卒 古賀弘子

毎回楽しみにしています。編集のみなさん誠にこころうさまです。

高校7回卒 古賀弘子

毎回楽しみにしています。編集のみなさん誠にこころうさまです。

高校7回卒 古賀弘子

高校1回卒 高石満之

高校時代の事が思い出されて、懐かしく読ませていただきました。今後とも宜敷くお願いします。

中学50回卒 廣松親弘

会報3号、興味深く拝読させていただきました。編集委員、世話人の皆様には、内容とも充実し、御苦勞に感謝します。

中学55回卒 金森隆茂

16年度分の賛助金2口分として会報はいつも楽しく読ませて頂いています。

高校13回卒 山田隆輝

娘夫婦が柳川川下りに行き、父さんの故郷は「よかとこネ」と言ってくれてうれしくなりました。幹事の方々のご苦勞に感謝します。

13回卒(昭・37)

高校4回卒 倉本博子

今日では、インドアスポーツと
思われているバレーボールですが、昭和25年〜28年時代は年中、アウトドアで土と砂にまみれながら連日ハードトレーニングを続けた南校舎の二面のコートは私の青春の全てでした。そこで培った強靱な体力と精神力は古希を迎える現在の私の大きな財産となっています。末筆ですが母校伝習館の伝統を語り継ぎお世話くださる役員皆様に心よりお礼申しあげます。御

無沙汰の上遅くなりました。

高校12回卒 鈴木弘子

大変おそくなりました。会報ありがとうございました。方言とかなかなか詳しく拝見しています。

高校16回卒 梶島正司

毎号 表紙の絵も楽しみです。高16回卒

中学53回卒 吉岡昭三

1、賛助会費(2口分、4,000円) 振込み
2、中53回卒

高校26回卒 野口佳延

「伝習館、同窓会会報」いつもありがとうございます。

高校9回卒 山下恒吉

同窓会会報懐かしく拝見しています。今後ともよろしくお祈りします。

高校14回卒 長柄道夫

すっかり遅くなって申し訳ありません。第3号の川口君のクモデの絵に感激しました。彼とは一度同じクラスになったことがありますが、テニスの名選手だった彼がこんな素晴らしい画家でもあったとは知りませんでした。今度九州に帰ったら、ぜひ彼の店に寄ってうなぎ料理の腕前の方も味あわせていただきたいと思えます。

高校6回卒 戸上重治

東京同窓会会報編集の皆様大変ご苦勞様です。毎回楽しみに拝読しております。次回3号が楽しみです。同期生、岡田哲也君のギリシャあれこれ①追憶のメリナ・メリクーリ、②オリンピックの蛍、とても印象に残りました。

高校7回卒 永江嵩子

同窓会報は、懐かしく楽しく読ませていただいておられます。携わっていらつしやる方々に感謝致しております。

高校20回卒 海東信子

会報、いつも懐かしく又、楽しく拝見しております。編集委員の皆様方に感謝申し上げます。次号も楽しみに待つております。

高校20回卒 古賀日出雄

遅くなって申し訳ありません。2月17日

高校7回卒 中村啓子

高校7回卒です。

高校5回卒 冢入智恵子

大変御世話様でございます。立派な会報嬉しく又懐かしく拝読いたしました。ありがとうございます。

高校10回卒 川口圭之

同期の内山秀生君のご配慮で、同窓会報・創刊号から拝読しております。東京同窓会のご発展を祈念申し上げます。

高校8回卒 松本登四男

10回卒の松本英子の分は二重になりますので送付はけっこうです。

高女40回卒 山田チテ

お世話様でございます。会費遅くなり申し訳ございません。現在佐渡で生活しております。東京の病院へ定期検診に通っておりますが、会報はお手数ながら佐渡の方へお願いします。

高校18回卒 白谷正則

会報を通じ、同窓会の総会が盛り上がるのを期待します。

高校3回卒 志牟田徹

伝習館東京同窓会報をご送付いただき有難うございます。毎回なつかしくまた興味深く読んでおります。特に会報制作に関係される方々に厚くお礼申し上げます。

高校3回卒 一郡 辯

柳河高女第21回卒業 一郡タツノ 平成15年6月23日(98才) 死亡

高校24回卒 酒見和平

遅くなり申し訳ありません。

高校10回卒 川口圭之

同期の内山秀生君のご配慮で、同窓会報・創刊号から拝読しております。

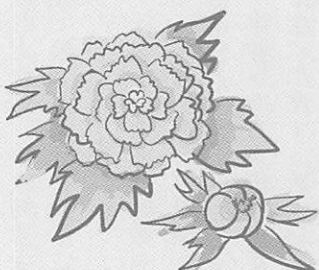
東京同窓会のご発展を祈念申し上げます。

中学50回卒 村石厚吉

東京同窓会報3号ありがとうございました。おそくなりましたが(ここ2、3年心ぞうと腎ぞう系の手術で入院をくりかえしのため失念)賛助金2,000円お送りします。よろしく、中50年 村石 なお、住居は、住居表示変更で下記のようになっています。
〒245-0063
TEL045-852-2305
横浜市戸塚区原宿4丁目7 A-1-303

高校14回卒 跡部 悠

お世話になっております。



伝習館修学旅行生受け入れについて

修学旅行生 受け入れ顛末記

江崎正直

「江崎会長さん、お願いですが一年先の平成十六年一月、修学旅行生が東京に立ち寄りますので、同窓会で面倒見ていただけませんか」

平成十四年十月、柳川の全校同窓会の席上、中村教頭先生から突然の申し入れを受けた。

この三ヶ月前の七月、東京同窓会総会が東京のホテルグランドパレスで開かれ、江口会長のあとを受けて私が新会長に選ばれた。母校の柳川から神坂校長先生も見えた。総会、懇親会のあと、初対面の神坂校長先生と懇親を深めるべく茶話会を持った。その席上、新米会長の私から

「校長先生、同窓会として何か母校の役に立つことでもあれば仰って下さい」と多少お世辞をこめて言ったつもりだった。その回答が冒頭の申し入れとなって返ってきたのである。

伝習館では上村前校長先生の時代から、生徒はミラクルステージなる学習に取り組んでいる。正規の学習とは別に

クラスの枠を超えて五、十名のグループをつくり、郷土の歴史や文化、地域の産業、環境、福祉など、広範囲に課題を見つけて研究するというユニークな試みである。このミラクルステージの延長上で、修学旅行東京研修を取り上げようということらしい。旅行業者が設営する普通の観光コースと一味違った、会社訪問をベースとした企業研修にしてほしいというのである。卒業生は各界に散らばっている、このような発想が生まれるのは、けだし当然といえよう。しかし、全く未経験のことゆえ、どのようにして会員を説得して協力を依頼したものか。旅行生280名を引き受けるとなると、十か二十のグループに分けて面倒見なくてはならない。大仕事だ。

この十、二十年間、福岡県下の各高校は、修学旅行と称してスキーツアーに熱を入れてきた。北海道や志賀高原で四泊五日のスキー合宿をやる。南国育ちの若者にはスキーは珍しいから、本人たちは喜ぶだろうが、貴重な高校の時間を単にスキーだけに費やすのはもったいない話だ。と私はかねてから思っていたことでもあり、そのうちの一日でも社会勉強しようという高尚な意欲には何としても応えてやりたい。

明けて平成十五年二月の学年幹事会で本件をご提案したら

「会長は大変なお荷物を引き受けてください」

という重苦しい雰囲気会場に漂った。東京へ行って遊びたい盛りの若者を捕まえて説教がましいことは、時代に逆行す

るといのである。ゆとり教育の時代とはいえ、スキーツアーの一日を東京で研修するのは高校生にとって有益なことに違いない。いろんな議論の末、母校から折角の申し入れだから、東京同窓会として可能な範囲で協力しようということに収まった。

六月五日、十名からなる実行委員会を開催、東京側から十二コースを選定して伝習館側に提案した。幸いにも六月末、松永副会長、岸幹事の二人が柳川で開催されるクラス会に出席するチャンスがあり、そのついでに伝習館に立ち寄って学校側と打ち合わせもらった。学校側から(1)昼間は課題別研修(2)夜は会長講演を強く要望された。再確認したところ、課題別研修は西鉄旅行社も協力してくれるという。それでは西鉄旅行社を主、東京同窓会を従として、東京側の負担を少しでも軽くしたい。さらに夜の講



演会のほうは、会長一人で六十分も話すと生徒たちも退屈するだろうから、会長講演は三十分程度にして、あと生徒たちが十、二十名のグループに分かれて、卒業生と膝を交えて四十分程度座談会をしてはと再提案した。

グループ別座談会は会場の都合でホテル側から断られた。東京側では具体的に六コース（国際郵便局、産総研、NHK、日本銀行、セコム、千鳥屋）を選定して学校側に提示した。見学先の人数制限もあり、学校側で生徒の希望を取った結果、総勢280名中、184名を東京同窓会がお世話することになった。

学校側は慎重を期して十二月十三日の学年幹事会に合わせて、中村教頭と荒木学年主任の両先生がわざわざ上京して合同会議を持ち、最終的に次のことを確認した。

「昼の部は六コースとする。各コースに東京と柳川で責任者を決め、東京到着後の行動の詳細は責任者間で打ち合わせて決める。午後七時までに生徒はホテルに帰る。夜の部は八時三〇分開始。会長講演二〇分、このあと同窓会、生徒各五名の代表が壇上でパネル・ディスカッションをやる」

初めての試みゆえ、多くの戸惑いがあったが、関係者のご協力を得て、平成十六年一月一三日、無事終了することができた。同窓会・母校の連携プレーが窺った成果だった。神坂校長先生から礼状と共に、来年に向けての希望が次項のごとく寄せられた。

伝習館修学旅行日程表

1. 伝習館高等学校2学年修学旅行受入 課題別研修

福岡県立伝習館高等学校

旅行先 東京：志賀高原 方面

* 旅行期間：平成16年1月13日（火）～平成16年1月17日（土）
* 行程：4泊5日（旅館・ホテル 4泊、船・車中 泊）参加人員

生徒280名様
先生 12名様

日次	月日(曜)	行程	宿泊地
1	H16年 1/13 (火)	柳川 <small>八景川-大里前川-清津川</small> 福岡空港 JAL358便 東京羽田空港 8:00 9:30 10:50頃(昼食持参) 12:15頃 ※手荷物は、トラックにてホテルへ	ホテル エドモント
2	1/14 (水)	ホテル <small>首都高速</small> 練馬IC <small>(途中各自昼食)</small> 信州中野IC <small>志賀中野有料</small> 志賀高原(宿) 8:30 15:00 ホテル <small>首都高速</small> 課題別研修 練馬IC 信州長野IC <small>志賀中野有料</small> 志賀高原(宿) 8:30 13:30 19:00頃	
3	1/15 (木)	2日目:スキー研修 午前の部:スキー教室 (9:00~11:30) 昼食 休憩 午後の部:スキー教室 (13:00~15:30)	
4	1/16 (金)	3日目:スキー研修 午前の部:スキー教室 (9:00~11:30) 昼食 休憩 午後の部:スキー教室 (13:00~15:30) 【閉会式】	
5	1/17 (土)	志賀高原(宿) <small>志賀中野有料</small> 信州中野IC <small>(●中昼食)</small> 練馬IC <small>首都高速</small> 東京羽田空港 JAL367便 福岡空港 <small>清津川-大里前川-八景川</small> 柳川 6:30 11:30 14:45頃 16:30頃 17:15 18:45	

H16年1月13日(火) 伝習館東京同窓会担当

課題別研修コース明細

コース	見学先	見どころ	希望人数	説明時間	受け入れ担当者	担当教室
1	東京国際郵便局 通信総合博物館 (千代田区大手町)	国際郵便局のしくみ 郵便・電話・テレビ のしくみの見学	22	90分 90	岸 栄洋	下村 幸
2	産業技術総合研究所・ 臨海副都心センター (江東区晴海)	生命情報科学研究ほか	37	120	松永 肅	江口美千代
3	NHK (渋谷区神南)	「スタジオパーク」 ハイビジョン・アナウンサー 体験コーナー	38	90	古賀和男	橋本信之
4	日本銀行・貨幣博物館 ビデオ(天然ガス・コード) (中央区日本橋)	ビデオ・資料・業務見学、 古今東西の貨幣紙幣 国産資源の紹介	52	150	江崎正直	猿渡いずみ
5	セコム(日本警備保障) (三鷹市)	機会警備システム・ 食事支給ロボット見学	12	120	北島文之	中村俊之
6	千鳥屋 (豊島区駒込)	和菓子製造実習 試食・お茶会	19	180	原田万紗子	荒木真之

伝習館東京同窓会では初めての現役高校生の修学旅行の受入に対して、どの程度のお手伝い出来るか学年幹事会を中心に検討しましたが、実際は内心かなり不安でした。こちらの提案に対して学校側もある程度人数的にも、時間的にも無理のない結論を出して頂き、上記のような受入態勢を整えそれぞれの担当の先生方と連絡をとりながら準備を進めました。受入側は担当責任者にサブでお手伝いをして頂く方をお願いして緊張の中に当日を迎えました。

修学旅行生に同行して

コース4 日銀

高校10回 内山秀生

13時40分 江崎会長と東京駅八重洲北口で落ち合い修学旅行生を待つことにした。

14時すぎ学生服を着たグループが見えた。

生徒達は4〜5名の班に分かれ全員が揃ったら先生に報告していた。日銀コースは猿渡先生が引率、館長も同行されていた。

生徒は男子18名、女子25名、計43名。

日銀コースを希望したからか真面目な生徒に見えた。まずは「貨幣博物館」に向かう。東京駅から歩いて約10分だ。ここは昭和57年日本銀行創立100周年を記念し金融研究所内に設置され、昭和60年11月に開館したものである。

日本及び世界各国における古来からの貨幣類、歴史資料等が展示されている。他では絶対に見られないものだけに生徒達も興味深く見入っていた。次はすぐ近くの日本銀行だ。ビデオで日銀の歴史、業務等について説明を受けた後、女子行員の案内で本館内を見学。日銀本館は江

戸時代の金座の後に建てられ、建物は明治29年辰野金吾博士の設計で建てられたもので同博士は東京駅、旧両国国技館の設計も手がけた第一人者だ。建物はパロック様式の重厚さを漂わせ、2階の両側には吉原重俊初代総裁から26代三重野総裁までの肖像画が飾られていた。生徒達は圧倒されたのか黙々と館内を巡る。最後に新館1階の営業室を見る。いわゆる銀行の銀行として一般の人は入る事は出来ない。主として銀行の資金担当者が出入りするところである。見学が終わった所で本館入口前で記念撮影。日銀コースにはプロの荒巻辰暢さんが同行していた。

昔は既だったというトイレで希望者は用を足し最後の関東天然瓦期開発(株)に向かう。ここは江崎会長が社長をされていた三井系の会社で、千葉県における天然ガスの開発、採掘、販売、ヨードの原料であるかん水の販売等を主な事業としている。生徒達は会議室でビデオにより、これら事業内容の説明を受けた。三つの見学コースを終わり三越本店の中を通る。「これが例のライオン像ばい！」と言って解散した。

生徒達に同行し感じたことは皆真面目だったこと。身なりは茶髪やルーズソックスもない。この点猿渡先生に質してみたら「最初の一人を許したら全体が乱れるのでこの点は厳しくしている。」とのことだった。我々の頃はこれ位のグループだったら3〜4名のツッパリ、にやがりもん”がいたと思うのだが…。

初めての試みである修学旅行生の企業

研修。生徒達はどういう感想を持ったのだろうか?。東京同窓会として後輩のお役に立ったのであれば嬉しいのだが。

コース6 千鳥屋(豊島区駒込)

高校13回 原田万紗子

千鳥屋研修については、永倉様(高10回)、吉田様(高14回)、芹川様(高19回)の3名にお手伝いをお願い致しました。まず、本場に短時間のスケジュールの中で千鳥屋を研修の場所として選んで頂いた生徒さん達に少しでも印象に残る研修にしたいと思い、分刻みのタイムスケジュールを作成し、皆さんでリハーサルをして迎えました。最初は緊張していた18名の生徒さん達も窯から出てくる焼立ての千鳥饅頭を試食する頃から段々と打ち解けて、和菓子の実習の時点では楽しそうにお互いに写真を取り合ったり出来あがった生菓子を批評しあったりしていました。和菓子が完成したところで、日本の伝統と文化を和菓子とお茶で体験して頂くために特別に「伝習館修学旅行記念茶会」としてささやかなお茶会を、裏千家の遠藤先生のご指導のもとで行いました。神妙な顔をしてお茶を頂く生徒さん達を見ながら、自分達の遙か昔の伝習館の学生時代を思い起こし、今回の修学旅行の課題別研修が母校のために少しでもお役に立てれば幸いだと思いがながら忙しくも楽しい一日でした。

後日生徒さんの一人からとてもうれしいお便りが届きました。(次頁)



伝習館修学旅行千鳥屋研修 タイムスケジュール

平成 16 年 1 月 13 日 (火曜日)	備考、担当 先生 9 名、生徒 275 名	担当 荒木先生
11:10 福岡発 ↓ JAL364 便		1 石橋未奈子
12:40 羽田着		2 井上明香
13:30 羽田空港発 ↓ モノレール、JR 山手線	永倉素子(高校 10 回卒) 吉田節子(高校 14 回卒) 芹川季代子(高校 19 回卒) 13:30 千鳥屋集合	3 宇田梨沙
14:30 駒込着		4 緒方越子
14:40 東京千鳥屋本店到着 会社説明 (白衣に着替える。)	原田万紗子(高校 13 回卒)	5 南部友香
15:00 工場見学 2 階、千鳥饅頭工場	千鳥屋 中浦	6 藤木智子
15:20 和菓子製作	千鳥屋 成田	7 溝田佳代
16:00 お茶会	裏千家 遠藤先生	8 太田さき
16:50 原田自宅に移動 ↓ 徒歩 7 分		9 本田麻理子
17:00 原田自宅にて懇親会		10 松藤真理子
18:30 原田自宅出発 ↓ 地下鉄南北線		11 徳永美佳
18:55 飯田橋到着(A2の出口) ↓ 徒歩 5 分		12 中村眞理子
19:00 ホテルメトロポリタン・エドモント到着 東京同窓会パネリスト集合		13 木原惇滋
20:30 東京同窓会との交流会		14 富松寛幸
21:30 閉会		15 今山将充
		16 川口淳哉
		17 坂口拓朗
		18 酒見侑佑
		合計 19 名



菓子	和菓子	光悦	伝習館修学旅行記念茶会
菓子器	銘々皿とりどり	中里隆作・柿右衛門作祇園守	
お茶	八女の露	八女星野製茶	
建水	唐銅		
蓋置	尾戸焼 「松の絵」	土居博幸作	
なつめ	玄々斎好写 「あけぼのなつめ」		
茶碗	菊割紋	北大路魯山人作	
茶杓	「仙寿」	大徳寺太玄	
水指	唐津耳付水指	十二代中里太郎衛門(無庵)作	
風炉	蒲池焼	彦三郎作	
釜	天猫釜	大西清衛門極 江戸時代	
	輪島塗一枚板	大向高洲堂製	
香合	見立	柳川立花藩家老十時家伝来	
花入	鍛びつ 三ツ巴		
花床			

平成十六年一月十三日



伝習館高校 川口淳哉

◆生徒さんからのお便り◆

先日は私達にいろいろなご指導どうもありがとうございました。工場での菓子の製造過程の見学、和菓子作り、お茶会とどれも貴重な体験となり、また私自身の将来を考える事においても参考になりました。というのは将来「ケーキ職人」になりたいと今のところは考えているからです。それで今回の研修で「千鳥屋」を希望しました。

今回の研修で一番印象深かったのは四季折々の和菓子を見た時でした。一つ一つが全く違う雰囲気をもっていて、それぞれが見ていて飽きないような美しさがあったとても感動しました。自分もこんな風になろうと思いましたが、かなり難しく、出来上がりはイマイチでしたけど。あとお茶も初めてだったけどおもしろかったし、夕食も本当おいしかったです。本当にどうもありがとうございました。

東京同窓会会長 江崎正直殿

平成 16 年 3 月 1 日

福岡県立伝習館高等学校
校長 神坂貞幸

修学旅行課題別研修について

このたびの修学旅行は従来のスキー研修から東京での課題別研修（企業訪問）を加えた新しい試みとなり、多少、不安な点もありましたが、東京同窓会のご尽力により、充実した研修を実施できましたことに対して厚く御礼申し上げます。誠に有り難うございました。

さて、先日のご依頼の件についてですが、初日の課題別研修につきましては十分に満足できる研修であったという感想を職員のみならず生徒からも得ております。これも東京同窓会の各担当者の方々による事前の下見や訪問先との綿密な打合せ等、時間的にもかなりの労力ではなかったかと推測し、あらためて深く感謝いたしております。また、夜の講話やパネルディスカッションでは貴重な御意見、御教示を賜り同窓会の方々の母校や在校生に対する熱い思いが伝わり、生徒にとっても思い出深い1日になったのではないかと思います。

次に今回の東京研修の反省を踏まえ、次年度への課題として2点述べさせていただきます。

(1) 交流会の時間設定

ホテル側の都合もあり、開始時間が遅れたことと、交流会全体の時間が長くなってしまいました。開始時間は早期の交渉によってクリアできます。また、諸先輩から御指導いただく内容について、事前に綿密な打合せを行いたいと考えます。

(2) 課題別研修内容

課題別研修につきましては、今回生徒たちだけで動いたグループも成果をあげることができました。次回は、主体性を養うという観点から、生徒たちだけで企画・立案し、行動する形態を取りたいと考えております。

以上、2点について課題等を述べさせていただきましたが、何かの参考になれば幸いです。よろしくお取り計いお願い申し上げます。

東京同窓会との交流会実施要項

福岡県立伝習館高等学校第二学年

- 1 期 日 平成 16 年 1 月 13 日 (火) 20:30 ~ 21:30
- 2 会 場 ホテルエドモント「万里」(2階大広間)
- 3 会次第

進行 橋本

- ①開式のことば(荒木)
- ②学校長挨拶・講師紹介
- ③東京同窓会会長講演(江崎会長)
- ④同窓会との交流会(パネルディスカッション)
- ⑤生徒代表謝辞(生徒会長 本村陽佳)
- ⑥閉式のことば(荒木)

一同礼

諸連絡

4 同窓会との交流会

交流会 パネルディスカッション形式

司会(同窓会 原田万紗子) 生徒 5名 同窓会 5名

- | | | | |
|------|---------------|-----|-------------|
| *同窓会 | 江崎和夫(中学 55 回) | *生徒 | 山口拓哉(野球部) |
| | 増尾義勝(高校 1 回) | | 小宮隆宏(陸上部) |
| | 酒井清行(高校 3 回) | | 坂井 梢(バレー部) |
| | 石橋正通(高校 13 回) | | 山田香織(吹奏楽部) |
| | 白谷政則(高校 21 回) | | 井上大輔(サッカー部) |

パネルディスカッション

広い会場にきちんと背中を伸ばして行儀よく着席している現役学生 270 名の前でパネルディスカッションがスタートした。当初、同窓会側、生徒側の一人でも多くの人との交流をしたいという目的で、小グループでの懇談会を希望したが、会場の都合で実現できなかったため、パネルディスカッションの形式をとった。時間の制限があったので、パネリスト一人一人が自己紹介をすることもちょっと無理があり、それでも何とか同窓会側の

パネラーの皆様はOBとして、現役の高校生に熱いメッセージを送って頂いた。生徒側のパネラーの皆さんは全員さわやかで頼もしく、素晴らしい後輩を持ったOB、OGとして大変心強く誇らしく感じた。会場の設営や、時間の問題、コーディネーターの力不足もあり決して満足行くパネルディスカッションではなかったかもしれないが、東京同窓会と、現役高校生 270 名とのこの初めての交流の場は大変意義のある素晴らしいものだったと思う。

コーディネーター(高13回)原田万紗子

東京に輝ける三稜の星たち

「東京同窓会」の歩み—その4—

副会長 松永 肅

私が、東京同窓会のお手伝いをするのは、一時的なもので、いずれ同窓生のどなたかが、引き受けていただけるものと信じておりましたが、一向にその気配はなく、次の同窓会の時期が近づいて来るとまた開催の準備をすることの繰り返しでありました。

昭和40年代の後半の頃だったと記憶しておりますが、当時同窓会のご指導を受けておりました故古賀義利先輩が、4・5名の同窓の先輩とホテルに来訪されました。用件は、「君が引き受けている東京同窓会の事務局を自分たちが引き継ぐことにする。ついでにはこれから宮崎駒吉会長、立花盛枝副会長の了解を得てくる。事務局は当分の間龍保険事務所の中に置くことにするので君も了解してほしい。」とのことでありました。私に異論がある筈がありませんでした。ホテル本来の仕事は猫の手も借りたい程の多忙を極めておりましたし、まして同窓会の仕事に携わって行く自信もなく、手探りの状態が続いておりましたので、内心ほっと致しました。

暫くして「みろく会」で古賀先輩にお目にかかった折「先日の同窓会事務局の移転の件は白紙に戻ったので当分の間君のところをお願いしたい。勿論自分は同窓会を見捨てることはしないし、今まで

以上の協力は惜しまないので君も安心して欲しい。」とのことでした。

理由は良く説明頂かなかったのですが、理屈は良く説明頂かなかったの分かりますませんが、古賀先輩などからの事務局移転の要請に、宮崎会長は憚然とした表情で黙して語られず、立花副会長にいたっては大変な剣幕で激怒され、とりつくしまもなかったと聞いております。

このような経緯から私なりの推測では「東京同窓会が何らかの問題を抱えているのではないか?」と勝手に解釈して、それなら当初「みろく会」の席上で私が大先輩の方々の要請でお引受けしていたことでもあり、これにお応えする他にないと思つた次第であります。

当時同窓会の事務局には書類らしきものは何もなく、手もとにあったものは、東京同窓会を新たに復活させたときに集まった約750名の会員名簿と1万2千円足らずの余剰金だけでありました。

これでは同窓会の存続に不安があった為、何とか打開策を見いだしたいと、他校の実態を調査することとし、先の古賀先輩に相談したところ、先輩は、伝習館から旧制佐賀高等学校を経て東京大学を卒業しておられ、しかも当時、旧制佐賀高等学校の同窓会幹事をつとめ、他校の同窓会の事情に精通しておられたので詳細にわたりご教示いただきました。しか

しながら旧制佐賀高等学校、福岡高等学校、修館高等学校などの同窓会は、ながい年月のうちに組織が確立されており、同窓生も数千人単位で、運営資金も十分に確保できている状況であり、伝習館の東京同窓会がただちに参考にするにはほど遠いものでした。

丁度この頃の秋、ホテルで求人活動のため、九州地区の高等学校を一週間かけて訪問することとなり、伝習館も入っていたので、この事を立花副会長に報告したところ、自分のところに本校の同窓会の案内状が届いているので代わりに出席してきて欲しいとのことでありました。

そこで本校の同窓会の運営の仕方を勉強させていただくつもりで出席いたしました。同窓会の会場は体育館で、床には何と一面にゴザが敷きつめられていて、約150名位の同窓会員があちこちで好きな場所に車座になって陣取っているなかで総会が開催され、会員が壇上を見上げるかたちで議事が進行し、議事次第が終了したあとに仕出し弁当をほおばりながら懇親会に移って行く総会でありました。当日の同窓会の会費は三百円であったと記憶しております。また、同窓会の運営費用は、毎月のRTAの会費などと

一緒に徴収されておりました。これでは、OB集団の東京同窓会の運営も参考にはならず、止むなく「独自の運営方法を編み出す他に無い。」と結論づけざるを得ませんでした。

そこで、新しく「東京同窓会の事務局」を立ち上げるための当座の資金がどの程度必要なのか? その資金をどうして捻

出するのか? この資金の捻出を試算しても、現在の東京同窓会の会員数は約750名と登録されておりますが、実会員数は、前回の同窓会の案内状の返戻葉書の中から逝去者・宛先・転居先不明で返戻されて来た約100名の人数を差引き約650名の会員を基準にして試算することになりますと、会員の絶対数が少なく、これまた経費倒れになることは必至であり、ここで八方塞がりの状態に陥ってしまいました。しかしこのまま同窓会を放り投げることも出来ず、とにかく事務局はホテル内に置き、同窓会の諸業務は私が会社の業務の合間に処理することとし、次の昭和50年度の同窓会総会に向けての準備は、前回の同窓会を手伝っていただいた同窓生の皆さんに協力をお願いして開催する決意を致しました。

東京同窓会の事務局をホテル内に設置するには、立花総支配人の指示だけでなく、直属の上司である総務担当常務の承認を得ておく必要があるので常務に願い出、気持ち良く了解して貰いました。

実は担当常務は大分県の白杵市の出身であり、近いうちに当ホテルで「白杵人会」や「大分県人会」を開催することになっていたので君も大いに頑張つて欲しい。また、ホテルの社長も佐賀県の唐津東高等学校の出身で、「鶴城同窓会」も開催されることになっていっていると聞き、気分が楽になり、気兼ねなく同窓会の準備に取り組むことが出来るようになりました。

その頃、ご協力頂いた方々は30年前の記憶を辿れば、古賀義利、永江政勝、成

先輩・後輩より

思春期の 実存的命題

旧中 56 回生 成清良孝

二〇〇四年一月十三日、伝習館の修学旅行生を歓迎するイベントは、母校と東京同窓会との連帯をいっそう緊密にする画期的なものだった。

いくつかに分れた都内見学は、それぞれの分野で豊かなキャリアを積んできた先輩たちの肌理細かな対応によって、後輩たちには何ものにも代えがたい充実した体験になったことであろう。

飯田橋のエドモンド・ホテルでの夜のパネル・ディスカッションも、熱気をはらんで時間延長するほど成功裡に終わった。ただ、先輩パネリストたちの行け行け、ドンドン式の威勢のいいオプティミズムがちよっと気になった。ことはそれほど簡単だろうか。

わたしは高校教員の現職だった頃、七年間にわたって硬式野球部の顧問(部長)をやったことがある。これは野球部に限ったことではないが、どのクラブ活動でも、学業との両立や先輩との人間関係の確執など、簡単にクリアできない深刻な問題をかかえている。

加えて、あの年代の子どもたちの三〇%、あるいはそれ以上が、自我の覚醒という実存的な命題に苦悩していると考えていい。

その一つは異性問題である。ひとりの異性を好きになるのは、これは運命的なもので、まさに抜きさしならないことだ。相手の一挙手一投足に極端にナーバスになる。この情念はふり払ってもふり払っても念頭を去らず、学習効率の面でも著しくマイナスになる。

もう一つは「人間は何のために生きるか」「人生の目的は」といった人間存在の根源にかかわるテーマである。多くの大人たちは、何ら解決できていないのに、日常の多忙さの中で鈍感になり、どこかへ押しやって俗物になり果てている。

一方で否応なしに取り組まなければならないのが大学受験対策である。この現実的な対応と、人間存在への根源的な課題への取り組みとは、多く同時進行の形で推移していく。

おのれの実存的命題を解決しようと、文芸作品や哲学的課題を盛り込んだ書物を読みあさる場合が多いが、それは基礎学力をつける時間を奪うことになりかねない。

しかし、多読によって、ストレートに大学受験でプラスになるのは、間違いない。国語であるが、意外や意外、すぐれた文芸作品を数多く読んで磨かれる感性、哲学や社会科学関係の文章を読んで醸成される多様な問題意識、さまざまな論理的思索の積み重ねなどは、実は物理や数学の問題を解くときの窮極のひらめきに

つながる、というのだ。

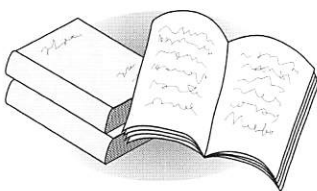
これは昭和五十年代の前半、河合塾の教務部長だった丹羽健夫氏から直接聞いた話である。丹羽さんは、「決して単なる憶測ではなく、五年間の追跡データの裏付けがあります」と言われた。

その頃は教員の兼職がまだうるさくない時代で、わたしは仲間数人と河合塾から『トップ・レベル』というエキセントリック? な受験参考書を出し、出講もしていた。

丹羽さんは現在、河合塾の本拠地の名古屋にある「河合文化教育研究所」の所長である。単なる予備校のイメージでははかれない、壮大で多彩な文化活動を行っている。

ちなみに河合文化教育研究所は、廣松渉(昭和二十一年入学)が東大教授を停年で辞める時、三顧の礼? で迎えられたところである。廣松もそこでの仕事を楽しみにしていたが、残念ながら、停年後わずか二か月で亡くなった。

廣松と一緒にそこへ勤めることになっていたのは、木村敏京都大学名誉教授で、精神医学の著名な学者である。廣松の葬儀では心情あふれる弔辞を読まれた。



白秋と切支丹文化

—ガルニエ神父との出会い—

高5回卒 今村 直

白秋の年譜をくつてみると明治四十年（一九〇七）八月・盛夏、当時二十二歳であった白秋は、与謝野鉄幹の主宰する「新詩社」の同人、吉井勇（早大）、平野万里（東大・応用化学）、木下空太郎（東大・医学部）と鉄幹を郷里柳河に迎えて五人で平戸、長崎、島原、天草へ旅をする。この旅で天草は五人の若い詩人たちに鮮烈な衝撃を与えた。

五人は長崎の茂木港から小さな舟にのって天草・下島の富岡に上陸し、そこで一泊した。翌朝、下島西海岸の道をたどって峠を越え大江村に入った。この山里（野中）の大江天主堂でフランス人神父ルドヴィコ・ガルニエに出会う。

大江天主堂は切支丹禁制が撤回された翌年、明治七年（一八七四）に建てられたもので木造の質素な聖堂である。堂内は畳敷きで正面に祭壇、木の十字架とイエス像、祭壇横に聖母マリア像が置かれてあった。

夏の山路を越して遠く東京から訪ねてきた文学青年たちをガルニエ神父はこ

ろから喜んで出迎えた。「モースケ、よか水バ飲んで来んしゃれ」ガルニエ神父は土地の天草弁でお手伝いの茂助少年にこえをかけ、岩陰から湧き出る清冽な清水を持ってこさせ、接待した。この一杯の冷水がどんなにか彼らの乾いた喉をうるおし、無限の涼味を与えたに違いない。

「土地のひとびとは、極端に清貧で、この山里でひたすらに神を説き、貧民と孤児の友になりつづけた神父を『パーテル』さんという特別なよび方でよんでいた。切支丹時代、ポルトガル語の『パードレ』が訛って伴天連になったが、フランス発音ではそう聴こえるのであろう。この呼称は、当時間もいままガルニエ神父においてだけつかわれている。神父はフランス人である。ロワール川の流れるルピユ盆地のうまれであるという。

五人の詩人たちは、このお堂のなかでこの粗服の神父に会い、透きとおった人柄に接して、その感動が、はるかな過去の南蛮時代への回顧とかさなったのであろう。

それまで南蛮といえば『奇妙な』とか『わけのわからぬ』という感じのこもった語感だったものを、かれらの詞華によって憧憬に転じたのは、あるいはこのパーテルさんの人柄やこの人格をとりまく村人たちの態度などの印象によるものであろう。天主堂のそばに、当時、五人のうちの一入だった吉井勇の歌碑がたてられている。

白秋とともに泊りし天草の
大江の宿は伴天連の宿



この歌の底に、やせた顔に小さな眼鏡をかけ、ながいあごひげを蓄えたガルニエ神父の顔が水鏡のようにひろがっていったにちがいない」（司馬遼太郎著『街道をゆく17島原・天草の諸道』朝日文庫）

ガルニエ神父は昭和十五年（一九四〇）八十歳で亡くなるまで四十八年間、来日して一度も母国フランスへは帰らなかつた。山里の集落の貧しい人達と生活を共にし、粗衣粗食、同じ服を十七年間も愛用し食事はから芋とネギだけですませていた。日常の会話はこの土地の天草弁しか使わなかつた。粗衣粗食で貯めたお金で天主堂を建て、孤児院をつくり、貧者

には宗旨の如何を問わず援助の手をさしのべた。

人は自ら生きたように死ぬ、ガルニエ神父は「私の墓はよか石で造るに及ばん。そぎゃん金があつたら、病人や暮らしに困っている人によつてくれ」と遺言して死んだ。マザー・テレサのような生涯であった。

天草の風土とガルニエ神父の存在そのものが切支丹文化であった。この天草の旅で白秋のみずみずしい詩情は異国美意識へと昇華され、処女詩集「邪宗門」——明治四十二年——の天草雅歌へと結実した。

ただ秘めよ（邪宗門・天草雅歌より）
曰ひけるは

あな、わが少女、
天艸の蜜の少女よ。

汝が髪は鳥のごとく、
汝が唇は木の実の紅に

没薬の汁滴らす。
わが鴿よ、わが友よ、

いざともに擁かまし。
薫濃き葡萄の酒は

玻璃の壺に盛るべく、
もたらしし麝香の臍は

汝が肌の百合に染めてむ。
よし、さあれ、汝が父に、

よし、さあれ、汝が母に、
ただ秘めよ、ただ守れ、齋き死ぬまで

虐の罪の鞭はさもあらばあれ
ああただ秘めよ、御くるすの愛の徴を。

これは南蛮文学への道をひらいた天草

雅歌の一篇である。

なお雅歌の語源は旧約聖書のソロモンの歌・「雅歌」に依る。原語の意味は「歌の中の歌」、最も美しい歌である。旧約聖書の「雅歌」全八篇はペルシャ時代（紀元前五〇―三三〇年）以後のユダヤで歌われてきた歌を編集したもので、男女の美しい恋愛歌集である。現代に至るまで人間に愛することの真実を教えている抒情的作品で豊かな芸術の源泉となっている。

白秋没後六十一年、白秋の詩歌の世界と柳河に想いを寄せて私たちの愛する詩人・白秋をしのぶことのできる幸いを喜び感謝したい。

二〇〇三年十二月七日
降臨節第二主日に記す

Rejoice in the blessings
of Christmas

2003 降臨節
今 不 到

東京同窓会報 「伝習館」に出会えて

高6回卒 江崎逸夫

この会報を知ったのは、昨年春の春だつた。3月19日に、伝習館高校第6回卒生の同期会が、東京九段のホテルグランドパレスで開かれたので私は、関西から出席した。その日は柳川へ帰ったより以上に柳川の中に居ることができた。忘れかけようとすする柳川弁ばかりだった、そこには、柳川村があった。その村人に戻ってしばらくして、同期生が、東京同窓会報を送ってくれた。私はすぐ読むことなく机の上に置いたままにしていた。その月の3月31日に、体に異常を見たので入院することとなった。私は約2年程前の柳川市々長選の時に直腸ガンでS字結腸を含めて25cm切り取っていたので、その転移ではないかとのことで1ヵ月余りの検査入院だった。その時この会報は私を慰め、元気づけてくれた。どのページも懐かしいものばかりだった。中でも陸上部の優勝パレードが貨物トラックだったのが昨日のようであり、その祝賀発表会が運動場であった。少ない人数で良くやったり全国制覇であった。壇上で立石

先生は、優勝して、メインポールに揚げる、校旗が無かったのが残念だったと云われたのも思い出された。水泳部それに陸上部と最も輝いた日に又出会えたのも、この東京同窓会会報のおかげである。病院のベッドの上で私は、柳川人を誇りと思いながらページを追った。「東京で見られる柳川のさげもん」のページに私の眼は吸いつかされた。さげもんの話も懐かしく思い出されたが、それよりその出稿者のお名前に気を止めた。高10回卒、永倉（跡部）素子さんとあった。私は、旧両開村字西の切東の出身である。永倉素子さんは、その旧両開の西の切出身ではないだろうかと思った。そうであればお母さんは、愛子さんと云うお方ではないかな、そのおじいさんは、古賀歌郎さんではないか。その歌郎さんは、両開村の村長をされていて、私が小学校に入っ

た時に、お話されたお顔が浮かぶお方のお孫さんではないだろうか。お母様の愛子様は、私が八百屋の行商をしていた時に良く買物をしてもらい、気さくに話をして下さった。昔は大地主の娘さんで、我々のような人間には、話してもらえないと小さい頃から思っていた方だったが、どうしてどうして庶民的なやさしいお方だった。私は「柳川のさげもん」の稿を読み返ししながら。この尿管のガン手術が成功して東京に行けたら、是非東京事務局を訪れたい、そして、永倉素子さんに逢い、永倉さんは、古賀愛子さんの娘さんではないのか、で、その愛子さんはどうして居られるのか、ご消息を知りたくなっていた。私は、東京同窓会報をいつも病院の枕元に置いては見ていた。4月30日に腎臓と尿管と膀胱の一部をガンで摘出手術をした。退院して6月には



滋賀県 琵琶湖畔の山荘に植えし、柳川の柳 2003 年春



琵琶湖畔の山荘に植えし、柳川の柳 2003 年春

上京できるものと考えて体調調整をしていた。すると又異常発生で8月1日に手術となった。それで終わるかと思ってい
たら、今度は肝臓にガンの転移が見つかり、9月25日4度目のガン手術をするこ
とになった。病が永くなると、幼い頃が
思い出されるものである。古賀歌郎村長
のこと、さげもんまつりで家々を廻った
こと等が出てくる。この東京同窓会報を
いつも見ていると、いつも柳川に居るよ
うで心が休まった。私は柳川を出て36年
になるが、柳川を一時も忘れることはな
い。私の2階には、柳川から持って来た
枝垂れ柳の差し木22本が2m以上の枝を
垂らしている。滋賀県琵琶湖畔の山荘に
は300本程の柳川の柳を植えているの
で、常に柳川村に居る心地である。ガン
手術が4回目にしてどうにか落ち付いて
来たので、この頃は山荘で、柳川の枝垂



自宅の2F ベランダに、
鉢に差し木した柳川の柳



2階から垂れる、柳川のシダレ柳、差し木して1年2ヶ月、夏は、
これから60～70cm下え垂れる。

れ柳による木炭作りを行っている。柳の
キノコ作りも行ったし、柳川の柳の皮で
和紙作りをやってみようとも思っている。
まだ現役で小さな会社を営んでいる
が、やることは柳川の柳をして、緑を増
やし、環境を良くすること、柳川に柳
による産業の創出の為に頑張ることにし
ている。

2003年はガンとの闘いで暮れた。
2004年は、柳川の柳と共に生きて
いくと心に決めての新年であった。今年
は東京に1月早々に行くことを決めてい
た。すると早々に東京同窓会報が送られ
て来ていた。1月12日67回目の誕生日を
迎えた朝にその封を切った。鮮やかな柳
川の風景の表紙である。その絵の中の川
には、どじょうが泳ぎ、フナゴが群れて
いる。タイワンドジョウもいた。私はそ
の表紙を一枚捲る。はっとしばし息がで

きなかった。「昭和初期の柳河高女物語」
高女31跡部（古賀）愛子さんの文字があ
る。私は真つ先に、8ページを開いた。
両開小学校が出て来た。お父さまの歌郎
さんが出てこられた。タイムスリップし
たように、62年前の両開村が浮かんで来
た。両開村立両開尋常高等小学校の木造
校舎も、冬の枯っ風に震えている。イナ
ゴをビンに取り、運動場で、湯でて、ム
シロに干し、イナゴを針で糸通しをして
兵隊さんに送った。その思い出を思い出
させてくれているのが、この伝習館の東
京同窓会報である。これは、柳川高等女
学校、伝習館だけの会報ではない。柳川
の歴史を綴る貴重な歴史書でもある。
柳川を故郷に持つ誇りを持たせてくれる
会報でもある。私は、伝習館高校の同期
会に参加したために、このようなすばら
しい会報を見ることができた。そして、
わからなかったお方の消息が知れ、今す
ぐにでも東京へ立ち、跡部（古賀）愛子
様親子にお逢いして頂きたいと思ってい
る。

4回のガン手術に耐え、生きている喜
びを今回の会報3号で実感した。会報を
送ってくれた、伝習館東京同窓会事務局
の方々へ感謝します。

去る三月二十八日は、柳川市蒲池の田
圃に柳のさし木祭を行った。市長をはじめ、
教育長や、二百五十名の参加があり
四〇〇本のさし木を終えた。

オナシス父子
ギリシャあれこれ (三)
高6回卒 岡田哲也

盛装の船主夫人が銀の斧を振り下ろす
とロープが切断され、シャンパンのボト
ルが舳に碎ける。
それを合図に船はゆっくりと動き始め
船台の上を滑り降りてゆく。山のような
巨大な船体はやがてだんだん加速して、
ザンブとばかりに海に浮かぶ。
何度見てもこの情景は感動的だが
「私がいなければ、この船は生まれてい
なかつたのだ」
と思うと、感慨もひとしおである。
ギリシア人は伝統的に船主への憧れが
強い。事業で財をなしても、船主になれ
なければ成功者とは言えない、という通
念のようなものがある。そこで船舶部か
ら派遣された各社のアテネ駐在員はこれ
はという見込み客への売り込み競争に鎗
を削ることになる。
ギリシア船主たちが戦後急成長したの
は日本造船業のお陰と言ってもよい。受
注した船を日本ほど早く安く大量に造れ
る国は他になかつたのである。
数ある客先の中でも、親子二代と付き

合ったオナシスはひときわ想い出深い。

もう四十年近くも前のことになるが、オナシスは日本鋼管に撤積船を大量発注したことがある。丸紅は代金の融資を頼まれたが、当時の持船はみんな銀行などの抵当に入っていて、融資金額に見合う担保がなかった。

ノドから手が出るほど受注したい商談だったが、無担保で巨額の融資などできない相談である。すったもんだの挙句、オナシスに最後通牒を打電した。

「担保の提供は融資の絶対条件なり」翌朝、オナシスから届いた返事はその後久しく社内語り草になった。いわく

「担保はオレの名前だ！」
万事休す、失注だと観念したが、恐る恐る稟議を上げると、意外にもトップの融資承認が下りた。

高度経済成長期のことであり、船腹を拡張すれば儲かるのは目に見えていたし、ましてジャックリーヌ夫人と結婚するほど名誉欲の強いオナシスが不名誉な債務不履行など起こすまいと判断したトップは賢明だった。果たせるかな貸付金は一日の遅延もなく順調に完済された。

彼のひとり息子、アレクサンダーに初めてあったのはアテネ着任間もない七〇年の秋である。

この時は船舶商談ではなく、当時オナシスが経営していたオリンピック航空からYS11機をチャーターする交渉だった。同機を売込中だったノルウェーの航空会社がテスト飛行を希望し、一番近いオーナーがオナシスだったのである。

会ってみると、まだ二十才そこそこの若者で、商談は隣りに座った重役がほとんど代行し、合意成立後サインすることだけが彼の役割のようなものだった。

大富豪の御曹司には見えない、庶民的で親しみやすい人柄が感じられた。後継者の息子に実務の経験を積ませようというのが父親の意図だったのである。

商談がまとまった後、くだんの担保のエピソードを話すと、
「へー、そんなことがあったんですか」と大笑い。

「今度はこちらが借りる番です。担保は私の名前でもいいですか？」

と冗談を言うと、また大笑い。ビジネスの厳しさなどまるで分かっていない感じだったが、商社マンとしては

（これは将来貴重な人脈になる。大事にしなければ）と思ったものである。大事に澄んだ瞳がとても印象的だった。

アレクサンダーは大の飛行機好きで、家用機の操縦免許を持っていた。サントリ二島の震災の時、愛機に救援物資を積んで飛び、感謝と賞賛を一身に浴びたこともある。

あろうことか、その彼がアテネ空港で墜落したと聞いた時は一瞬耳を疑った。YS11機商談で初めて会ってから三年後のことである。

その日はなぜか操縦桿をカナダの友人に譲り、自分は副操縦士席に座っていたという。因にこのカナダ人はケガだけで助かった。

アレクサンダーのこと思い出すが、あの若々しい瞳が最後に見たものは

なんだっただろうかなどと考える。彼が軽やかな爆音を響かせながら飛び回り、限りなく愛したあの澄みきったエーゲ海の大空だったと信じたい気がする。

父オナシスは仕事の上では老獪で、一筋縄ではいかない相手ではあったが、最愛の息子が瀕死の重傷を負って病院のベッドに横たわり、医師団から回復の見込みなしと告げられて生命維持装置の取り外しに同意せざるをえなかった時の胸中を思えば、同情せざるにいられない。

タバコ貿易で財をなし、大船主にはなつたが、逆縁の親子に成功者の幸せは訪れなかったようだ。

父オナシスはその後まるで人生に絶望したかのように急速に老け込み、二年後に亡くなった。

彼が一代で築きあげた大船隊は今も健在で七つの海を走り続けている。



みちのくに転勤になりました

よこの細道…

高校 23 回生 坂本智臣

15年7月1日、「塩釜勤務を命ず」との紙切れ1枚を頂戴し、宮城県塩竈市（居住地は多賀城市）に赴任しました。当然の如く、同窓会幹事会も欠席せざるをえなくなってしまう、幹事の皆さんにご迷惑をお掛けしており、申し訳なく思っています。その埋め合わせというわけではないのですが、せめて会報への投稿は続けたいと思い、ペンならぬマウス片手に原稿作りに励みました。

塩釜は、大小の島々が浮かぶ松島湾の傍らにあり、付近に風光明媚な地、歴史ある地が数多くあります。また、居住している多賀城市も724年に陸奥国府多賀城が置かれた歴史ある町です。単身で赴任いたしましたので、よからぬ方向に走らぬよう自衛の意も込めて、休日は精力的に当地の名所、史蹟等を尋ね歩いていきます。今回はその中からとっておきの幾つかをご紹介します。

松島四大観って、知っていますか？

宮城県といえば、何はともあれ、まずは日本三景「松島」を紹介しない訳にはいかないですね。松島といえば瑞巖時、五大堂付近が一般的なようですが、この辺りは休日ともなると観光客でこったがえしますし、松島の景観をゆっくり愉しむには、四大観（多聞山、扇谷、富山、大高森）がお薦めです。

○美観・多聞山（たもんざん）

宮城県七ヶ浜町の最北端に位置し、眼下に馬放水道（注）、塩釜港を望み、松島湾南部の好点を占める標高56メートルの山です。ここからの眺望は、大小の島々が名園の配石のように点在し、その姿態、色調が巧妙なので、「美観」といわれています。天気が良ければ東方に霊峰「金華山」、北方に松島湾の全景を眺めることができます。塩釜に赴任して最初の休日、当地が松島四大観とは知らず訪れ、その景色に感動し、赴任1ヶ月余で3回も足を運んだほどです。天気の良い日は勿論のこと、朝霧に浮かぶ島々も神秘的・幻想的です。また、馬放水道からそそりたつ多聞山のたたずまいも一興ですので、時間があれば遊覧船に乗り、海から眺めるのもお薦めです。

（注）馬放（まはなし）水道は、七ヶ浜町と馬放島との間の水道であり、馬放島は、引退した鹽竈神社の御神馬が余生を過ごす島です。

○幽観・扇谷（おおぎたに）

宮城県松島町と利府町の町境にある標高55・8メートルの小高い山です。山上から、眼下の溪谷が海辺で東南に扇を広げた形をしていることから「扇谷」と呼ばれており、松島湾と外洋に浮かぶ島々を見ることが出来ます。

この山谷の静寂を愛した瑞巖寺第99世雲居希膺（うんごきよう）が寛永14年（1637年）に座禅堂を建立して以来、明治期に至るまで寺院があり、「幽玄の地」と文献に記されているということになります。

幽観といわれるだけあって、辺りは静粛に包まれており、松島の眺めをゆつたりとした気分味わうには最適な場所だと思います。

○麗観・富山（とみやま）

松島町と桃生郡鳴瀬町の町境にある標高116・8メートルの松島湾内のどこからも見ることのできる山です。ここに富山杉なる幹の周囲3・8メートル、高さ45メートルの太木があり、古くから湾内を航行する船舶の目印になっているということになります。

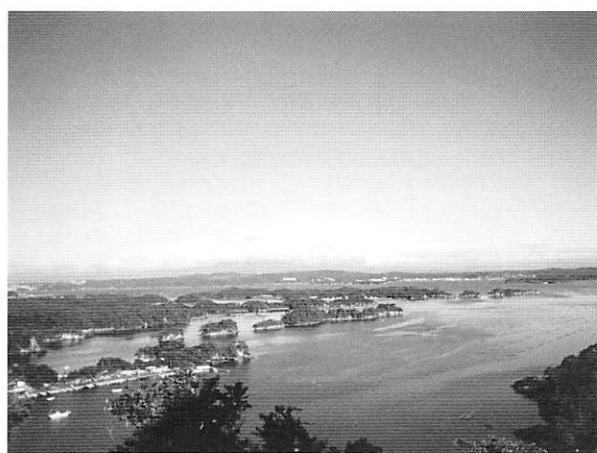
文政6（1823年）、仙台藩の儒学者、舟山万年が「松島湾を眺望するに最も素晴らしい」と評し、「靈観」と紹介したということだけあって、静粛の森から眺める松島は格別であり、一遍に好きになってしまいました。これまで三回訪れましたが、たまに人に出会う程度なので、松島が堪能できます。

○壯観・大高森（おおたかもり）

奥松島、鳴瀬町の宮戸島にある標高105メートルの山です。大高森に登ると、松島湾に浮かぶ260余島を一望でき、天気の良い日は遠く蔵王連峰、栗駒山も望むことができます。四大観随一、「壯観」と言われていますが、ホントに壯観さを実感できます。四大観の中でもこの大高森がお薦めナンバーワンです。

松島湾は霧のかかる日が多く、360度のパノラマ展望はなかなか困難ですが、日頃の行いが良ければ写真のような景色を望むことができます。もちろん、先述の富山杉も確認できますよ。

奥松島ではこの景勝地「大高森」と、太平洋側の奇勝地「嵯峨溪」（後述）の異なる景色を満喫できますので、瑞巖時、五大堂をお訪ねられたら、是非、奥松島



眼下に浮かぶ島々と山波

まで足を延ばしてもらえればと思います。

松島より奥松島がお勧めです

大高森から眺める松島湾の穏やかな景観とは対象的に、太平洋側の雄々しい嵯峨溪の景観にはただ驚くばかりです。

嵯峨溪は、岩手県の「貌鼻溪」、大分県の「耶馬溪」と並ぶ、日本三大溪と言われています。貌鼻溪は行ったことがないので比較できませんが、耶馬溪のように山間にある溪谷とは趣が異なるものの、引けを取ることはありません。約2キロメートルにわたり、波の浸食によってできた断崖や奇妙な形の岩が連なるその雄々しさだけでなく、岩肌にも墨絵を書いたようなもの、襖絵にしてもよいような模様もあり、40分間の遊覧の間、驚きと感動の連続間違いなしです。

遊覧船は3人までは一人でも4,500円です。4人目からは一人1,500円となります。一人で行った場合は、3人以上のグループが来るのを待って、仲間に入れてもらいましょう。1,500円ですみます。小生はいつもそうしています。

景観を愉しんでいた後は、三陸の海の味覚を味わうことができます。大高森の麓に水産物直売所があり、そのの食堂（らしくない）のウニ定食は、ホタテ刺身、小鉢、貝汁がついて700円と、リーズナブルで満足できる味です。勿論、好みのものがあれば、生簀の魚介も食する事ができます。是非、立ち寄ってみて

ください。

塩竈の開花が待ちどおしいです

次に、塩竈神社（国重要文化財）を紹介しましょう。同神社は鹽土老翁神（しほつちおぢのかみ）、武甕槌神（たけみかづちのかみ）、経津主神（ふつぬしのかみ）の三神を御祭神とし、古くより東北鎮護、陸奥国一之宮と称され、海上安全、大漁満足等の神として広く崇敬されています。

創建年は不明ですが、平安時代に編纂された「弘仁式主税帳（820年）」には鹽竈神社に関する記録があり、1,200年前から存在していたと考えられています。

芭蕉も、元禄2年5月8日（陽暦6月25日）に多賀城を訪れた翌9日に神社を訪れ、「おくの細道」に、

早朝鹽かまの明神に詣、国守再興せられて、宮柱ふとしく、彩椽（さいいてん）きらびやかに石の階九切に重なり、朝日あけの玉かきをかかやかす、かつる道の果塵土の境まで神靈あらたまにましますこそ、我国の風俗なれと、いと貴けれ

と、感動の一章を書き綴っています。

境内に国の天然記念物「塩竈桜」があります。平安時代に既に生育していたとされており、その特徴は、めしべが変化して2〜3枚の青い葉となり、花弁は35〜50枚でたてじわがあり、先端が2〜5の微凹の鋸歯状になっているとのこと。来年の開花を今から待ち望んでいます。できれば次号の表紙を飾れるよう

写真を撮りたいと思っっていますが「写るんです」しかもっていないので、余り期待しないでください。

「あけくれに さぞな愛で見む 塩竈の桜の本に海人のかくれや」
（堀河天皇御製）

多賀城ってお城？

松島湾から直線で3キロメートル程の地に「陸奥国多賀城」があります。

多賀城は、724年に築かれ、奈良・平安の時代、「遠の朝廷（みかど）」と呼ばれた東北統治の最大拠点であったと言われています。

北の拠点として、朝廷と蝦夷（えみし）との争いの場となりましたが、その後は歌枕の地として、王朝の人々があこがれたロマンあふれる地となっていたそうです。しかしながら、戦国時代のうねりの中で、次第に歴史の彼方へと忘れられていったそうです。

芭蕉も1689年に多賀城を訪れており、古くから歌に詠みこまれた「壺の碑（つぼのいしぶみ）」（国の重要文化財）を見つけ、「おくのほそ道」に綴っています。

碑の大きさは、高さ196センチメートルで、762年に建立され、西を正面にして立っている。当時の主要な国界から多賀城までの距離や、大野東人（おのおのあずまひと）が724年に多賀城を創建したことなど、141字が刻まれています。

多賀城は、発掘調査により、政庁跡（国特別史跡）、外郭南門等が判明してい

ます。

100メートル四方に塀をめぐらした中央に、儀式を司る政庁があります。

さらに約1キロメートル四方を築地塀で囲んでいた（土塁が断続しながら現存している）ことが判明しています。また、政庁は三回立て替えられていたことも判明していますが、まだ全容の解明には至っておらず、発掘調査は現在でも行われています。

「多賀城」というので、赴任前までは江戸城等の櫓のあるお城と思っていたのですが、平城京や大宰府と同様、朝堂院式の建物でした。無知さ加減に我ながらあきれてしまいました。

政庁跡付近から周囲を見まわすと、その広大さに驚きを憶えます。歩いてみると尚更、感じます。この広大な地に、いま、多賀城が存在していないことが残念でたまりません。

多賀城を訪れるなら休日がお薦めです。壺の碑や政庁跡付近にシルバーボランティアの方々が待機されており、観光客を見つけると、すぐやってきて、丹念に説明してくれます。ただし、時間に余裕のない人は最初に断らないと、大変なことになります。全てを説明し終わるまで、口を挟むこともできません。

蕎麦は好きですか？

お蕎麦の好きな方には、隣県山形のお蕎麦をお薦めします。仙台から車で1時間半位走ると「そば街道大石田町」があります。大石田駅付近にも蕎麦屋さんはたくさんありますが、お薦めは駅付近で



はありません。駅からさらに30分程山奥に入った次年子（じねんこ）という村落の蕎麦屋です。この村落に5軒ほど蕎麦屋がありますが、店という感じはありません。普通の農家みたくです。よく見て走らないと、見過ごしてしまいます。一杯1,000円くらいですが、このうち2軒は1,000円で食べ放題です。1軒は予約制で客数に応じて、蕎麦をうつそうです。ふらつと行かれる方のために、予約不要の店を紹介します。屋号は「七兵衛そば」と言います。そばの他にきくらげ、大根の漬物等季節に応じたものが3品付きます。つゆの中に大根下ろし汁が入っており、ピリリとした辛味が何とも言えません。いっぱい食べても胸焼け



蔵王のお釜

なんかしません。朝を抜いて出かけたのですが、5杯でギブアップでした。11時開店ですが、開店前に行列となるので、心して出掛けてください。付近には日帰り温泉もあるので、食後、ゆっくりと温泉に身を委ねるのも結構なものです。

夏の蔵王もいいですよ！

蔵王と言えば、ほとんどの方は冬の蔵王を思い浮かべられるのではないかと思えます。まだ冬の蔵王を体験していませんので、夏の蔵王を紹介します。

仙台平野から蔵王を眺めると、頂付近はいつも雲の中です。なかなか山頂まで晴れ渡るときがありません。予定のない休みの日は朝早く起きて、今日の蔵王はどうか、で始まります。

これまで、一度だけ晴れ渡った日がありました。晴れ渡っているのを見るや否

や、もう出発してしまいました。時間が勝負なのです。その甲斐あって、「お釜」（カルデラ湖）はすごく綺麗だったし、太平洋も望むことができました。早起きは三文の得どころではありません。みなさんにも写真でちょっとだけ紹介します。

閑けさや：

芭蕉が「閑けさや」と読んだ山形の山寺（立石寺）。仙台から1時間弱で行けます。

山寺に登り、眼下の風景を楽しむものもいいですが、仙山線山寺駅から眺める山寺が大好きです。特に紅葉した山寺は筆舌に尽くしがたい情景です。皆さんに写真でも紹介できればいいのですが、カメラを持っていくのを忘れてしまいました。ごめんなさい。

温泉三昧

仙台から車で30分も行けば、そっちちに温泉があります。「入浴のみ可」という旅館もたくさんあります。入浴のみだと3000円から1,000円位ですね。

出掛けた折りの帰り道、ゆったり、温泉に身を委ねるのも結構なものです。

まだまだ紹介したいところは沢山ありますが、紙面の都合もありますので、次の機会にご紹介したいと思います。「百聞は一見に…」、皆さんも是非、よこの細道を訪ねてみてください。



今、柳川の町をめぐる掘割は桜の花びらを浮かべて流れています。観光地として年間100万人以上のお客さんを迎える町の一番華やいている季節です。「川下り」・「御花」・「北原白秋」・「うなぎ飯」をメインにこの町の観光は栄えてきました。しかしながら、観光の主体がツアーから個人に代わってきている近頃では、リピーターを増やすために新しい町の魅力の発見が求められています。柳川も自分が自分の町を育てたいと知恵を絞っています。その中の一つに、観光ボランティア制度があります。この制度は平成13年6月にスタートしました。柳川地方は歴史の宝庫です。よみがえらせた歴史と文化を観光客に伝えることで、柳川の旅を印象深いものにし、柳川の観光そのものをよみがえらせたいと作られました。わたしは、この度2期生に認証され、ただ今勉強中です。そんな中でこの頃私が見聞きした新しいまちづくりの動きのあれこれを、皆さんにお伝えします。

**見に来てはいよ、
柳川まちづくり。**

高 23 回 松石めい子

去る2月、観光協会は観光客倍増の期待を込めて、50周年記念のシンポジウム「あなたが作る柳川まちづくり」を開きました。その中で、生え抜きの柳川人北原悌二郎画伯が新しい柳川観光の目玉を提言。(他にもたくさんありましたが、その中からいくつか挙げてみます)

・沖の端の六騎(ろつきゅ・平家の落ち武者)の物語の掘り起こしをして、柳川で平家ゆかりのものが集まる「六騎サミット」が開けないだろうか。

・昭代には、「見当の松」という頼山陽がそこで詩を作ったところがある。たぐさんの文化が河口より入ってきている、そのあたりに立つと雲仙まで見える。こういうところを観光スポットにすることに、柳川の観光空間は広がるだろう。

・蒲池に東大教授であった哲学者広松渉の生まれたところがあるので、そこに広松文庫を開けないだろうか。

・両開の明治開に手作りの漁具である、くもで棚(やつで網)が13基残っている。

・他にも、小さいけれど地元根ざした川祭りがあちこちに残っている。こういうものをたいせつにしなくてはいけない。

観光客がまた来なくなる町とは、住人が住んでいることを誇りに思い、大切にしている町ではないでしょうか。それには、知っているということも必要です。

「まちづくりネットワーク柳川」は、「柳川健康・文化ウォーキング」と銘打って、毎月第三日曜日に心・体に心地よ

く、柳川の歴史・文化を探索し「歩き」を楽しもうという催しを行っています。4月はお寺めぐりコース(25寺・5kmを2時間で歩きます)、5月は沖の端の名所・史跡めぐりの予定です。柳川の素晴らしさを再発見する良い機会となっています。

市民劇団「くもで座」の演出家・田中はくどうさんがプロデュースする映画「少年と星と自転車」(仮題)のロケが5月に柳川で行われます。15歳の少年が兄の事故死により傷ついた心を大道芸人と出会ったことから別の魂にふれあい、柳川・鹿島・天草・熊本・阿蘇の美しい風景の中を旅していくことで自分を取り戻し、競輪選手としてオリンピックを目指す映画です。上映は秋の予定です。少年といっしょに自転車で柳川の町めぐりをして、新しい柳川の魅力を自分の目で確かめてください。

3月の柳川は「さげもん」が町中に飾られ、華やいだ町になります。3月1日の「川開き」に始まり、4月3日の「流し雛祭り」で幕を閉じるまで、「さげもん祭り」として多くの観光客を集めます。また、その期間中は様々なイベントも行われます。

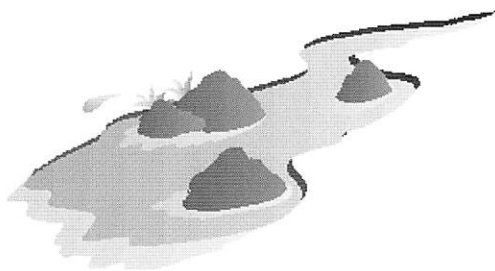
今年からの新しい試みとしては「さげもん祭り」期間中の「白秋生家」では、土・日に白秋の詩の朗読と、童謡のミニコンサートが行われ、観光客に好評でした。詩の朗読と声楽の競演は、聴くものを楽しませてくれました。

知っているようで知らなかった「さげもん」の由来を、市の観光大使の原達郎さん(ふるさと塾長)に観光ボランティアガイドの研修会で教えてもらいました。「ふるさと塾」とは、柳川をもっとよく知りたい人たちが集まった勉強会です。毎月第三日曜に、水の郷で開かれています。

いろいろ調べてみましたら、「さげもん」は庚申信仰からきているのではと思われま。日本三大庚申のひとつに江戸下谷の喜宝院があります。この江戸下谷に柳川藩の江戸屋敷がありました。庚申信仰では子供の幸せを祈る信仰的人形としての「猿子」をつなげて、厄除けのために飾ることが全国のいろいろな地方で行われています。この猿子に柳川藩邸のお女中がいろいろな飾りを作り加えたものが「さげもん」のルーツではないかと推測されます。つまり「さげもん」は柳川藩江戸屋敷生まれだろうと考えています。

江戸屋敷生まれと思われる「さげもん」が、いまでは柳川の観光の大きな柱となっています。そして今、柳川を新しい観光の町に育てたいと住んでいるものたちも頑張っています。

伝習館の現代版江戸屋敷である、東京



同窓会の皆さん！ 時々には参勤交代のように時代の新しい風をお供に帰ってきませ。まったりしますばんも。

また、お出でになったら観光ボランティアガイドに新しい柳川の魅力を案内させていただきます。お申込みは観光協会（TEL0944-73-2145）へどうぞ。観光ボランティアガイドは柳川市が募集・認証し、観光協会が運営しますので、ガイド料は無料です。と一緒に柳川再発見といきましょう。

Pari通信

高35回 梶島 優

11月第3木曜日はB・N解禁日です。ワイン好きはもちろん、そうでない人も聞いた事はあるんじゃないでしょうか？ 本場に住む人間として意外とその真実が分かったのでお知らせします。

日本にいるときから少々ワインが好きだった私は本場フランスでのワインを結構楽しんでます。もちろんフランス人のワインに対する気合の入れ方の違いを

感じますが、話のねたにB・Nの話をする必要があります。

B・Nの成功は「コマージュリズムの勝利」と言われていてボジョレーのブドウは酸味が強く成熟に苦勞する品種らしく、戦前までボジョレーのワイン栽培者達はワインでは家計を養えなかったそうです。

そこで収穫から40日で気軽に飲めるカフェ用ワインとして売り出し、その話題性とフランス人の祭り好きが手伝って現在に至っているとの事。

だからフランス人に言わせるとB・Nはお祭りの一つとしてとりあえず飲むくらいの感覚らしいです。

隣接する国の人間にB・Nの話をして「何？それ？」てな感じで全く知りません。

もちろんワインは自分の国のが一番おいしいと思っている人々ですが、その点日本は見事に、その罨にはまっていますね。ましてや、B・Nを贈り物にするなんて相手を馬鹿にしている行為に近いと言っていました。確かに解禁日になるとB・Nを名打ったボトルがスーパーに2〜5ユーロ（300〜600円）で一気に売り出されます。そんな裏話（真実）を知った上で飲むボジョレー・ヌーヴォーもいいんじゃない？

Petit-France 語講座

新しい言葉ヌーボー (Nouveau) とヌーベル (Nouvelle) があります

(例)ヌーボーは男性冠詞に着く(ワインは男性冠詞)

料理 Cuisine は女性冠詞なのでヌーベル・キュイジーンとなる。

尾暮亜



最近の若者や娘、息子さんとの会話が寂しいお父さん方に送るとっておき。「ピールアウト」というバンドを知っているか聞いて下さい。知らなければ教えてあげてください。知っていれば自慢して下さい。「お父さんの高校の後輩だぞと。」

ライブレポート
2004、4、3 渋谷CLUB QUATTRO

今日は待ちに待ったPEALOUT (ピールアウト)のライブの日だ。ここクアトロは名前は聞いたことはよくある。よく有名なアーティストがライブをやっている場所だから。

ほんとにこんな大きな場所で行うのか？この日のために福岡からかけたNちゃんKちゃんと参戦。

中にはいると大勢の人、人、人。若者ばかりだ。

圧倒されてばかりはいられない。オール

バンド紹介 「PEALOUT」

高35回 大野美佐子

スタンディングだ、いい場所を確保しなくては：そのうちにステージにPEAL OUTの3人が登場。

キヤ、うお、と客の歓声があがる。ワンマンライブは4度目だが今回は何だかっこいいぞ。

ヴォーカル近藤智洋、ピアノの前に座りピアノを叩きつけるように弾き、曲が始まる。

5曲ほど一気に歌うと次はベースに持ち替え立て続けに8曲ほど歌う。

3曲くらいから流れ始めた汗はしまいは滝のように流れ落ちていく。

またピアノに戻ると今度はピアノを弾きながらハーモニカを吹きながら歌っている、すごい。

彼は何でも出来るのか。

バンド結成から10年、CD7枚シングル10枚。その中から選りすぐった曲に加え、まもなく発売予定の新曲も合わせて聴かせてくれる。

客は思い思いに踊り共に歌い楽しんでいく。

2時間20曲、息も切れずにあつという間に歌いきってしまった。楽しいときは過ぎるのが早い。

何百人いや千人近くいるであろう客をこんなにも喜ばせ感動させることが出来るなんて。

すごいよ、プロなんだ。と胸が熱くなつてしまう。よーしまた明日から頑張るぞ、

とやる気を与えてくれる。

終了後、自分も含め名残惜しい客のアンコールは鳴り止まない。

結局Wアンコールに伝えてくれ楽しかったピールアウトのライブは幕を閉じた。すばらしいライブだった、また見たいまた聴きたいと思うのは私だけではないはずだ。感動を胸に会場を後にした。

夏に約10万人を超える観客で賑わう野外ロックフェス「フジロックフェスティバル」にも4回出場している実力あるこのロックバンド、PEAL OUT（ピールアウト）

私はまるで知らなかったがロック好きで毎年フジロックに行っている同級生のD君は

「え？ピールアウトのヴォーカルって同級生の近藤智洋君なの？？」

って驚いたメールがメーリングリストに残されているはず。

このエネルギーでパワフルなヴォーカル近藤智洋君こそわが伝習館で共に学んだ友達だ。

伝習館時代の彼はかわいらしくやさしく幼い少年という印象しかなかったから

ロックバンドのヴォーカルをやっているという話を聞いてもピンとこなかった。

当時はおとなしくて音楽をやっていたことすら知らなかった。

しかも人前で歌を歌うなんて考えられなかったが。それもロック。

その彼と19年ぶりに会ったのはちょうど1年前のプチ同窓会だった。

髪が伸びたせいで変わったような感じではあったが話してみると何も変わらない昔のままのやさしい智ちゃんだった。

そう今こそファンに「近藤さ〜ん。き

ゃ〜」と呼ばれかっこつけているが実は同級生の間ではみんなから「智ちゃん」と呼ばれているのだ。この年になつた今でも：

慌ててCD購入。

深みのある甘い声に激しい曲。中には静かな曲もありこれがまたいい。

しかも初期の頃の歌は英語ばかり。本当にこれを智ちゃんが歌っているのか？

HPを見てみたらその活躍ぶりと熱烈なファンがいるのに驚いた。

信じられない、確かめずにはいられない。初めて行ったライブでは友達というより

弟というか：身内が歌っているような感覚にとらわれドキドキしてまともに見れなかった。

が、一度行ったらもうやみつき。とにかくかっこいい。

こうしてピールアウトかパールアウトかも知らなかつた私は今ではすっかりファンになってしまったのである：

かっこいいステージの後に楽屋で見せてくれる拍子抜けするような笑顔もまた見逃せないのだ：お疲れのところ押しかけ私たちにいつもニコニコ顔で快く相手してくれるやさしい近藤智洋君だった。

P、S 彼は大学卒業後会社員をやっていたが夢を諦めきれず会社を辞めて28歳で音楽の世界に入った。

多分ご家族の反対を押し切って進んでいったに違いない。

彼は自分の生き方を通して、歌を通して諦めてはいけないことを教えてくれた。

それだけでなくやる気のない主婦の私に

やる気と活気と元気を与えてくれたのだ。

彼もまだまだいけると思う、でも私だってまだまだ何でも出来るぞ！ 負けないぞ！ と思うのだ。

いつもほんとにありがとう。これからもずっと応援していきたい。

9/1 NEW アルバムリリース予定。

1回/月、三軒茶屋のライブハウスにてソロライブあり。

HP 参照

<http://www.pealout.jp/>

5/28 新宿ロフト 6/19 渋谷クラブクアトロ



学年幹事より

ふくの会より

高5回卒 古賀弘

昭和二十九年に卒業して五十年、半世紀が経ち、昭和から平成へと代わり、戦後に育った私達も、古希を迎え「人生七十古来希」といわれています。古希、これからという者の集まりです。古希、喜寿、傘寿、米寿、卒寿、白寿とありますが、今後は「人生百二十古来希」にな

第24回 ふくの会

日時 平成 16年 9月 26日
日曜日 午後1時より

場所 がんこ 銀座4丁目店
TEL 03 (3564) 5678

幹事 10組 相沢 (本島)
原 (大曲)
9組 阿津坂・安藤・樺島
岸・古賀耕造

事務局 古賀弘
TEL 042 (365) 5186



るのでしよう(?)

ふくの会では、ゴルフ愛好家が集まり、毎年春と秋の二回、「柳川会」として、ゴルフを楽しんでいます。四月二十二日も成田のザ・カントリークラブ・グリーンモアで楽しみました。18ホール中8ホールが水面が絡むコースで水との格闘の一日でした。

今年の「ふくの会」は、左記の通り開催しますので若かりし頃を懐かしんで語り合いましょう。

昭和37年卒・13回生の 還暦記念東京同窓会

高13回卒 田中 利道

薫風さわやかな10月4日、有楽町ニュートーキョー本店9階のパーティー&ミーティングルーム「ラ・ステラ」で昭和37年卒・13回生の還暦を記念しての東京同窓会が石橋正通幹事のユーモラスな司会のもと賑やかに開催されました。

九州から遙遙参加した尾田義昭君、鳥巢晃一君を含めた19名は、原田万紗子(立花)さんが用意してくれた卒業写真の拡大版に若かりし頃の自分自身と友の顔をたしかめながら懐かしい想い出話に花が咲きました。

予定された一次会の3時間は瞬く間に過ぎ去り、全員がカラオケルームでの2次会に集合、それぞれ自慢の喉を披露すると共に来年の東京同窓会総会(総会終了後13回生での2次会を予定しています)での再会を約束し名残りを惜しみながら散会しました。

還暦組の東京同期会を開催

高14回卒 中ノ森重義

高校14回卒（昭和38年）の東京同期会を昨年11月14日、赤坂プリンスホテルで開催した。出席者は東京在住者を中心に約40人が集まり、高校時代に戻ったような気分で懐かしい思い出を語り合った。

昭和38年卒は今年還暦を迎える。卒業してから42年という月日が経過し、時間の流れの速さと重みを感じた次第です。「もう還暦か」という声があちこちで飛んだのは仕方がないところか。この会は、1988年にスタートし今回で9回目を迎えるが、開催期日はイタリア在住の画家綿貫直諒君（東京芸大油画卒）が銀座の松屋デパートで開く個展に合わせて決めている。綿貫君は芸大を卒業後、昭和57年にイタリアに移住し絵画に専念している。同期会は綿貫君を目当てに集まってくる女性が多く、その他の男性はいつもわき役にすぎない。

男の嫉妬はこれくらいにして、会の模様を少し紹介しましょう。会場は赤坂プリンスホテルの最上階（42階）。東京の夜のネオンが素晴らしく、日常生活を忘れさせるのに十分だった。高校時代の顔と一致しない初参加者の人もいたが、それがまた懐かしさを誘い、40年余の歳月を埋めるべく話が盛り上がっていた。都合で参加できなかった人には近況を書いてもらっていたので、それを出席者に紹介した。さまざまな理由があった中、多

かったのは「親の介護」だった。世代的に当然とはいえ、苦勞が文面から伝わってきた。「いずれはわれわれも…」と介護受ける身となる自分を出席者は考えたと思う。話は尽きず、赤坂のネオン街へ繰り出し2次会となった。バーでカラオケも始まり、自慢ののどを競い合ううちに夜もふけていった。



募集中!

1. 表紙絵・表紙用写真
 2. 原稿—伝習館OBならダッデンヨカバンモ
- テーマ—自由(同窓会報にふさわしいもの)
- 小説・随筆・詩・短歌・俳句・川柳・絵画・写真・絵手紙、書など
- 字数制限なし(極力四〇〇字詰め(20×20) 原稿用紙使用)
- 写真・絵・カット添付可
- 表題・投稿者氏名・卒業年度・総字数を書いて下さい。

—原稿送付先—

〒344-0032

春日部市備後東8-8-32

伝習館東京同窓会 小野 善睦 行

☎・FAX 048-735-2431

広告募集

チラシ広告

対象—東京同窓会会員向けに製品・商品営業内容をPR、販売したい方。

○チラシ三千部を作成し(フォーム自由) 事務局宛(裏表紙参照)送付下さい。会員への会報送付時に同封郵送します。

○広告代金—一件につき式万円を賛助金として頂きます。

会員の皆様からも、希望業者の方をどしどしご紹介下さい。

編集後記

○表紙の絵は白秋の

———しずかさは殿のお倉の昼鼠ひるねずみ
ちよろりとこのぼりまたも消ぬかに———

の歌の懐かしい風景である。今はこの「殿の倉」の中央に赤御影石の「水影の碑」が建っていて

———我ついに還り来にけり倉下くらしたや
揺るる水照みづあきの影はありつ、———

の歌が刻まれている。

○作者飯塚理恵子さんは東京育ちなのに、我々が最も郷愁を覚えるポイントを的確に選んで描いて頂いた。感嘆! 感謝!

○今号は山口英治さん(高35回)が管理人をやってくれているホームページを通じて、若い人たちからの来信が増え、本紙の内容が充実した様な感を深くしました。念の為アドレスを再録しておきます。

伝習館東京同窓会

ホームページアドレス

<http://www.asahi-net.or.jp/~dv4h-for/densyukan.html>

山口さんのメールアドレス

cafe.yama@ak.wakwak.com

○本年度の総会の本紙を発行するようになってから初めての開催で、果たしてどれだけの皆様が出席して頂けるか、本紙の発行が皆様方の東京同窓会への関心を高めることが出来たのかどうか、と、ドキドキしながら結果を待っています。是非是非多数の皆様のご出席を!!

○会員の方々がもっと興味をもって頂くような会報作りについてのご提案アドレスも頂きました。ありがとうございます。

○現在の編集委員は次の通りです。

小野 善睦(高2)

内山 秀生(高10)

永倉(跡部)素子(高10)

会長 江崎 正直(高2)

副会長 松永 肅(高5)

原田(立花)万紗子(高13)

発行責任者 江崎正直

〒156-0043

東京都世田谷区松原3-39-25-801

東京同窓会組織表



〔内 訳〕

会員数 2423名
学年数 130学年

中学伝習館	37学年	214名
高等学校伝習館	1学年	12名
併置中学校	2学年	21名
柳河高等女学校	29学年	192名
教員養成科	3学年	10名
柳河女子高等学校	1学年	3名
併置女学校	2学年	16名
伝習館高等学校	55学年	1955名
合計		2423名

平成16年3月31日 現在

伝習館東京同窓会学年幹事名簿 平成16年4月現在

卒業年次	氏名	卒業年次	氏名	卒業年次	氏名
中学第48回	宮本弘道	第6回	石橋修	同上	松藤由朗
同上	中野貞幸	同上	井上弘子	第19回	芹川季代子 (立花)
中学第49回		同上 (会計)	荻島直記	同上	北原 博
中学第50回		第7回	田中敬之助	第20回	高巢和登
中学第51回	松田 含 (星野)	同上	津留利生	同上	東 寛治
中学第52回		第8回		第21回	西原正道
中学第53回	古賀和典	第9回	石橋淑子 (吉沢)	同上	白谷政則
同上	木下憲男	第10回	内山秀生	第22回	北原富美男
中学第54回	浅山親司	同上	永倉素子 (跡部)	第23回	坂本智臣
同上	富重克巳	第11回	北原博	同上	樋口貴美子 (田中)
中学第55回	江崎和夫	同上	吉開毅	第24回	酒見和平
同上	小泉祐一郎	第12回	井上功夫	同上	笹子幸子 (川津)
中学第56回	鬼丸敏男	同上	小野アケミ	第25回	
同上	成清良孝	第13回	田中利道	第26回	
高女第45回	石橋佳香 (石橋)	同上 (会計)	石橋正通	第27回	高田浩一
高校第1回	永江政勝	同上 (副会長)	原田万紗子 (立花)	第28回	吉開孝人
同上	増尾義勝	第14回	吉田節子 (堤)	第29回	
第2回	石崎知見	同上	浦家史好	第30回	
(会長)	江崎正直	同上	石橋俊一	第31回	
(編集委員長)	小野善睦	第15回		第32回	
第3回	酒井清行	第16回	梶島正司	第33回	廣松崇人
第4回	白谷正敏	同上	安倍環江 (松藤)	第34回	
同上	丸勢正夫	同上	水澤昭子 (田中)	第35回	山口英治
第5回	岸 栄洋	第17回	北島文之	同上	橋本知彦
(副会長)	松永 肅	第18回	中島英治	第36回	松藤 亘
				第37回	志牟田美佐

幹事未選出の学年は至急選出して事務局までご連絡下さい。



伝習館東京同窓会事務局

〒170-0003 東京都豊島区駒込3丁目3-19 千鳥屋方

TEL 03(3915)0865 FAX 03(3918)8139

<http://www.asahi-net.or.jp/~dv4h-fior/densyukan.html>